

第二部 学習モデル（指導計画案・学習指導案）集 国語科編

国語科の学習モデル

- 第2学年「だいじなところに 気をつけて読もう」
『サンゴの海の生きものたち』・・・・・・・・25
- 第4学年「説明の仕方について考えよう」
『アップとルーズで伝える』
「写真と文章で説明しよう」
『「仕事リーフレット」を作ろう』・・・・・・・・40
- 第6学年「作品の世界を深く味わおう」
『やまなし』
〈資料〉『イーハトーヴの夢』・・・・・・・・57

第2学年 国語科 単元の指導計画案

単元 (教材)	だいじなところに 気をつけて読もう サンゴの海の生きものたち 話す・聞く 1 書くこと 4 読むこと 6 (11 時間) 10 月				
目 標	- 海の中の生き物の様子を想像しながら読み、説明の順序に気を付けて、生き物の関わり方について大体的内容を読むことができるようにする。 - 海の生き物の様子や関わり方について調べ、紹介文に書くことができるようにする。				
単元目標 と生き方 探究教育 との関連	※海の生き物がお互いに関わり合いながら生きていることを本文から読みとり、協力することや助け合うことのすばらしさに気付いている。(人間関係形成・社会形成能力) ※自分の集団の中での役割を理解しながら、相手意識をもって「生きものカード」を書いている。(人間関係形成・社会形成能力) ※「生きものカード」を書く際に、読みたい本を見つけ、生き物を選んだり、友だちや先生のアドバイスを生かしたりしながら、主体的に決定している。(自己理解・自己管理能力) ※メモの取り方、付箋紙や表を活用した情報整理など、学習で学んだことを、次の学習に生かしている。(課題対応能力) ※単元を振り返り、自分の学習への理解や困り、友だちのよさを見つけようとしている。(キャリアプランニング能力)				
単元の 評価規準	- 国語への関心・意欲・態度 - 書く能力 - 読む能力 - 言語についての知識・理解・技能		- 大事なところに気を付けて読もうとしている。 - 知りたいことを調べたり、探したりして分かったことを紹介文に書いている。 - 説明の順序に気を付けて大体的内容を読んでいる。 - 片仮名を読んだり書いたりして、文や文章の中で使っている。		
時	学習活動(●中心活動・活動内容)		*支援 ○留意点	評価の視点 (評価方法) ※準備物 →評価と関連している 生き方探究教育の力	
1	●海の生き物について話し合っイメージを広げ、内容を知る。 ・海の生き物について夏休みの経験などから発見したことを話し合う。 ・メモにとりながら、ブックトークを聞いたり、ビデオを鑑賞したりする。 ・メモしたことから、特に自分が感動したことを発表する。 ・範読を聞き、登場する生き物を知る。		*サンゴの海にもぐる人の話に関する図書を3～4冊ブックトークすることで、本文やサンゴの海に興味をもつことができるようにする。 *サンゴの海のビデオを視聴することで、登場する生き物のイメージを広げることができるようにする。	※「サンゴの海」についてのビデオや本 ④ブックトークやビデオで知ったことをメモしながら、サンゴの海について想像をふくらまそうとしている。(観察・ノート・発言) →課題対応能力	
2	●全文を読んで、読みのめあてをもつ。 ・グループで話し合っ、特に不思議だったところ、わからなかったところ、おもしろかったところを場面ごとに選ぶ。 ・「生き物同士の関わりを調べて生き物図鑑を作る」という単元の出口を知る。		○グループになって、互いに相談しながら読みのめあてを考えるようにする。 *大事なところに印をつけながら読み合うことで、生き物同士の関わり合いを読み取りやすくすることができるようにする。	⑤全文を読み進めて、読みのめあてを選択・決定している。(観察、ノート) →課題対応能力	
3	●読みのめあてを基に、イソギンチャクとクマノミそれぞれの体の仕組みと関わり合いを読み取る。 ・グループに分かれて役割を決め、文章に合わせて体を動かしたりして音読し合う方法を知る。		○生き物の関わり合いを読みとるために、役割読みをどのように工夫すればいいか例示するようにする。 *グループでの役割を明らかにすることで、協力することや役割を果たすことの大切さに気付くことができるようにする。	⑥役割読みを通して、登場人物の関わり合いに気を付けて読んでいる。(観察・ノート) →人間関係形成・社会形成能力	
4	●読みのめあてを基に、イソギンチャクとクマノミの関わり合いを、表や絵で表す。 ・グループで話し合い、イソギンチャクとクマノミの秘密を見つけて付箋紙に書く。 ・秘密を書いた付箋紙を基に、クラスで話し合っ二つの生き物の関わり合いを表や絵でまとめる。 ・生きものの秘密を自分のノートにまとめる。		*イソギンチャクとクマノミの体の仕組みやお互いの関わり合いを表や絵でまとめることで、関わり合いをわかりやすく理解することができるようにする。 ○板書を写すだけでなく、色を塗ったり文字を強調したりするなどの工夫をするようにする。	⑦登場人物の関わり合いに気を付けて読みながら、情報を抜き出して表にまとめている。(観察・ノート) →課題対応能力	
5	●ホンソメワケベラと大きな魚たちとの関わり合いについて読みとる。 ・教科書の文が、どちらの生き物のことを表しているのか考えながら役割読みをする。 ・前時を想起し、役割読みをしながら、本文を読みとり、グループで話し合っ生きものの秘密を付箋紙にまとめていく。 ・秘密を書いた付箋紙を基に、二つの生きものの関わり合いを表や絵でまとめる。		○前時に表を作成した体験を想起するようにする。 *前時に作成した表を提示して確認することで、類推して主体的に表の作成に取り組むことができるようにする。 *グループで話し合っホンソメワケベラと大きな魚たちの秘密を付箋紙に書いていくことで、二つの生き物の秘密を意識しながら意欲的に活動できるようにする。	⑧登場人物の関わり合いに気を付けて本文を読み進めながら、情報を抜き出して表にまとめている。(観察・ノート) →課題対応能力	

6	●イソギンチャクとクマノミ、ホンソメワケベラと大きな魚たちとの関わり合いについてまとめる。 ・海の生き物の関わり合いについて考えたことを交流し合う。 ・他の動物の関わり合いについて考えたり、指導者の話を聞いたりする。 ・自分と周りの人との関わり合いについて考え、助け合いながら生きている場面を考え、ノートに書く。	○4, 5 時間目に作成した関わり合いや生き物の秘密を整理した表を参照させる。 ○指導者は机間指導を通して児童が書いている内容をおよそ理解し、次の学習場面でよい例として指名する。 *生き物がお互いに助け合いながら生きている姿に感動する気持ちを大切にすることで、自分と周りの人との関わり合いに置き換えて考えることができるようにする。	③ <u>自分と周りの人との関わり合いについて考え、作文に表している。</u> (作文) →人間関係形成・社会形成能力
7	●生き物図鑑にのせたい海の生き物を決定し、読み物資料を読み進め、大切なところをメモに取る。 ・読んでもらうという相手意識をもって書く内容を考える。 ・図鑑のイメージを話し合い、どのような内容にすればいいか考える。 ・図鑑としてどんな項目を書くかを話し合いで決定し、統一する。 ・なぜその生き物を選んだのか、その根拠を振り返りカードに書く。	○図書室にある生き物に関する本を教室の後ろに置いておき、日常読書として活用できるようにする。 ○自分の調べる対象を決められない児童には、個別に相談にのる。 *実際の図鑑の一ページをテレビに提示することで、図鑑に描かれている項目を参考にしながら、自分たちの図鑑にのせる項目について考えることができるようにする。	③ <u>図鑑に載せる生き物を、根拠を明らかにしながら決定している。</u> (ノート・ワークシート) →自己理解・自己管理能力
8	●生き物について読みとったことを紹介文にまとめ「生きものカード」に書く。 ・「学校みんなが楽しめるような図鑑をつくってくれたら、理科室の前に展示したい。」というオファーがあることを知る。 ・読み手を意識して、どんなことに気を付けて図鑑を書いたらいいか話し合う。	○決まった項目を基に、「生きもの図かん」の様式枠を用意する。 *生き物図鑑を作る上で、担任外の先生からオファーが来ていることを知らせることで、生き物図鑑を作る意欲を高めることができるようにする。	③ <u>自分たちの役割を意識しながら、どのようなことに気を付けて図鑑を作成したらよいかを話し合っている。</u> (観察・発言) →人間関係形成・社会形成能力
9 ・ 10	●生き物について分かったことを絵や紹介文で表し、「生きもの図かん」としてクラスでまとめる。 ・読み手を意識してどのようなことを工夫したのか、書く。 ●作成した「生きものカード」を他の先生や友だちに見てもらい、わかりづらいところや足りないところなどのアドバイスをもらう。 ・アドバイスを生かして修正・加筆する。	*グループで、できたカードを紹介し合うことで、読み手を意識したよりよいものをめざそうとすることができるようにする。 *外部評価を受けることで、自分の役割を再認識しながら図鑑作りに取り組むことができるようにする。	③ <u>片仮名で書く語を文章の中で使っている。</u> (「生きものカード」の下書き) ③ <u>ペアで助言をし合いながら、「生きものカード」に修正・加筆している。</u> (「生きものカード」・観察) →人間関係形成・社会形成能力
11	●作成した「生きもの図かん」をどうやったらたくさんの人に読んでもらえるかを話し合う。 ・「生きもの図かん」を学校のたくさんの人たちに読んでもらうために、宣伝方法や工夫について考える。 ・たくさんの人に読んでもらうための工夫について考え、よいアイデアを実行する。	○どのように図鑑を提示すればいいかを話し合い、「たくさんの人に読んでもらうための工夫」について考えるようにする。 *相手意識をもたせることで、より主体的に活動することができるようにする。	③ <u>読む人の立場に立って、「生きもの図かん」を紹介する方法を話し合っている。</u> (観察・発言) →人間関係形成・社会形成能力 ③ <u>単元を振り返り、自分の学習への理解や困り、友だちのよさを見つけようとしている。</u> (振り返りの記述) →キャリアプランニング能力

本時の目標

○ブックトークやビデオで知ったことをメモしながら、サンゴの海について想像をふくらまそうとする。＜関心・意欲・態度＞

→課題対応能力

本時の展開

学習 目標	「サンゴの海のイメージをふくらまそう。」		
学習 展開	学習活動（発問）	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点（評価方法） ※準備物
課題 設定	- 今日から始まる学習の単元の流れを提示する。 みんな、サンゴがひろがる海って見たことあり ますか。今から写真や映像を見て、イメージを ふくらませましょう。 - 本時の学習の流れを知る。 この時間にがんばりたいことを書きましょう。 - この時間の自己目標を書く。 - 自己目標を発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標 に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識するこ とができるようにする。	※ブックトークのための本 ※ビデオ ※提示用の写真
課題 解決 （個別）	先生が今からいくつかの本を紹介します。初め て知ったことや感想をメモにとりましょう。 - メモにとりながら、ブックトークを聞いたり、 ビデオを鑑賞したりする。 ビデオを見て同じようにメモをとりましょう。 - メモをとりながら、ビデオを見る。	*サンゴの海にもぐる人の話に関する図書を3 ～4冊ブックトークすることで、本文やサンゴ の海に興味をもつことができるようにする。 *サンゴの海のビデオを視聴することで、登場す る生き物のイメージを広げることができるよ うにする。	
課題 解決 （クラス）	メモしたことから、感想を発表しましょう。 - メモしたことの中から、特に自分が感動したこ とを発表する。 先生が教科書を読むので、出てくる生き物に線 を引きながら聞きましょう。 - 教科書の範読を聞き、登場する生き物を知る。 - 形式段落を知り、段落ごとに番号を打つ。	○メモは、簡単な単語だけを書くようにする。 ○本文の中に出てくる生き物の横に線を引きな がら範読を聞くようにする。	関ブックトークやビデ オで知ったことをメモ しながら、サンゴの海 について想像をふくら まそうとしている。（観 察・ノート・発言）
振り 返り	今日の学習を振り返りましょう。 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記 録する。①困り（わからなかったこと） ②が んばった・できたこと ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるように する。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがん ばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を 考えたりする。	【課題対応能力】 要点をまとめてメモしてい る。

本時の目標

○全文を読み進めて、読みのめあてを選択・決定することができるようにする。＜読む能力＞ →課題対応能力

本時の展開

学習 目標	「読みのめあてを考えよう。」		
学習 展開	学習活動（発問）	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点（評価方法） ※準備物
課題 設定	今日は、教科書の文を読んで、<u>読みのめあて</u>をかんがえましょう。 - 本時の学習の流れを知る。 不思議だな、面白いなと思ったことが、これから学習を進めていくときの<u>読みのめあて</u>になります。 - この時間の自己目標を書く。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題 解決 （グループ）	班の中で、段落ごとに読み合ひましょう。 聞きながら、しるしをつけましょう。 「なんでだろう、どういう意味だろうと不思議に思ったところ」を②、「おもしろいな、と感じたところ」を③として、教科書に印をつける。 - グループで話し合っ、特に不思議だったところ、おもしろかったところを場面ごとに選ぶ。	○グループになって、互いに相談しながら読みのめあてを考えるようにする。 *大事なところに印をつけながら読み合うことで、生き物同士の関わり合いを読み取ることができるようにする。 ○机間指導をしながら、児童がどこに印をつけているのか把握する。	説全文を読み進めて、<u>読みのめあて</u>を選択・決定している。（観察、ノート）
課題 解決 （クラス）	班の中で出てきた、「不思議だな、面白いと感じたところ」を発表しましょう。 - グループで話し合われたことを発表する。 - 出てきた意見を整理し、クラスの読みのめあてとして決定する。 「生きもの図かんを作る」という単元の出口を知る。	*読みのめあてを明らかにすることで、めあてを意識しながら音読することができるようにする。 *単元の出口を明らかにすることで、学習の見通しを意識し、主体的に学習に取り組むことができるようにする。	【課題対応能力】 課題を見つけ、読みのめあてを選択している。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①困り（わからなかったこと） ②がんばった・できたこと ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○役割読みを通して、登場人物の関わり合いに気を付けて読むことができるようにする。＜読む能力＞ →人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習目標	「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて知ろう。」		
学習展開	学習活動 (発問)	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	今日は、イソギンチャクとクマノミの関わり合いについて知しましょう。 ・本時の学習の流れを確認する。 ・この時間の自己目標を書く。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
(グループ課題解決)	班の中で役割を決めて、工夫して音読しながら、文に書かれていることを正しく読みとりましよう。 ・グループに分かれて役割を決め、文章に合わせて体を動かしたり役割読みをしたりして音読し合う方法を知る。	○生き物の関わり合いを読みとるのに役割読みをどのように工夫すればいいか例示する。 ○文章がどちらの生き物のことなのかをグループの中でよく話し合うようにする。 *グループでの役割を明らかにすることで、協力することや役割を果たすことの大切さに気付くことができるようにする。	※教科書の写真の拡大写真 ③役割読みを通して、登場人物の関わり合いに気を付けて読んでいく。(観察・ノート)
課題解決 (クラス)	前に出て音読したいグループはありますか。 ・前に出て役割読みを実演し、工夫したところを発表する。 ・発表のよかったところを見つけて発表する。 ・次の場面でも、同じように役割読みをすることを知る。	○あらかじめ、各グループでどのような工夫がされていたのか机間指導を通して把握する。 *発表したグループのよさを取り上げることで、次の場面でも主体的に役割読みをする意欲をもつことができるようにする。	【人間関係形成・社会形成能力】 グループの中で役割を分担して読み進めている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①困り (わからなかったこと) ②がんばった・できたこと ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○登場人物の関わり合いに気を付けて読みながら、情報を抜き出して表にまとめるようにする。＜読む能力＞ →課題対応能力

本時の展開

学習 目標	「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを、ひょうや絵でまとめよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	イソギンチャクとクマノミの体の仕組みや関わり合 いを表や絵でまとめましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・この時間の自己目標を書く。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目 標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識す ることができるようにする。	
(課題 解決)	イソギンチャクとクマノミの秘密を付箋紙に書きま しょう。 ・イソギンチャクとクマノミの秘密を付箋紙に書く。 ・付箋紙に書いたことをペアで発表し合う。	*付箋紙に見つけた秘密を書くことで、自信 をもって話し合いに参加することができるようにする。	※教科書の写真の拡大写真 ※2色の付箋紙
(課題 解決)	付箋紙に書いたこと、表にまとめましょう。 ・秘密を書いた付箋紙を基に、クラスで話し合っ て二つの生き物の関わり合いを表や絵でまとめる。 ・クラスで話し合っ てつくった表を自分のノートにまとめる。 ・イソギンチャクとクマノミが助け合いながら生 きていることに気付く。	○教科書の写真の拡大したものを指し示し ながら説明する。 ○イソギンチャクとクマノミの体の仕組み やお互いの関わり合いを表や絵でまとめ、 わかりやすく示す。 ○板書を写すだけでなく、色を塗ったり文字 を強調したりするなどの工夫をするよう にうながす。	説登場人物の関わり合 いに気を付けて読み ながら、情報を抜き出 して表にまとめてい る。(観察・ノート)
振 り 返 り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録 する。①困り(わからなかったこと) ②がんばった・ できたこと ③友だちのすごいところ ④次の時 間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるよ うにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やが んばり、困りを振り返ったり、次時の自己 目標を考えたりする。	【課題対応能力】 付箋紙を活用しながら、 生き物の関わり合いを表や 絵でまとめている。

学習指導案 第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」 (5時間目/全11時間)
教材名「サンゴの海の生きものたち」 話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○登場人物の関わり合いに気を付けて本文を読み進めながら、情報を抜き出して表にまとめるようにする。＜読む能力＞ →課題対応能力

本時の展開

学習目標	「ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを知り、ひょうや絵でまとめよう。」		
学習展開	学習活動 (発問)	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	<u>ホンソメワケベラと大きな魚たちの関わり合いをグループで話し合い、表や絵でまとめましょう。</u> ・本時の学習の流れを知る。 ・この時間の自己目標を書く。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。 ○4時間目に表を作成した体験を、想起させる。	
課題解決 (グループ)	<u>今日は、自分たちの力で表を完成させましょう。</u> ・教科書の文が、どちらの生き物のことを表しているのか考えながら役割読みをする。 ・前時を想起し、役割読みをしながら、本文を読みとり、グループで話し合って生きものの秘密を付箋紙にまとめていく。 ・付箋紙を基に、グループで話し合って表を作成する。	*前時に作成した表を提示することで、類推して主体的に表の作成に取り組むことができるようにする。 ○教科書の写真を参考として示す。 *グループで話し合ってホンソメワケベラと大きな魚たちの秘密を付箋紙に書いていくことで、二つの生き物の秘密を意識しながら意欲的に表を作成することができるようにする。	※教科書の写真の拡大図 ①登場人物の関わり合いに気を付けて本文を読み進めながら、 <u>情報を抜き出して表にまとめている。</u> (観察・ノート)
(課題解決 クラス)	<u>クラスで一つの表を完成させましょう。</u> ・グループで話し合って作成した表を基に、クラスで話し合って表を完成させる。 ・ホンソメワケベラと大きな魚たちが助け合いながら生きていることを知る。	○教科書の写真や、児童の考えた表や絵を拡大して掲示し、指し示しながら説明する。	【課題対応能力】 付箋紙を活用しながら、生き物の関わり合いを、表や絵でまとめている。
振り返り	<u>今日の学習を振り返りましょう。</u> ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①困り (わからなかったこと) ②がんばった・できたこと ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○自分と周りの人との関わり合いについて考え、作文に表すようにする。＜書く能力＞ →人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習 目標	「生きもののかかわり合いについて考えよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	生き物がどのように関わり合っているのか考えましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・この時間の自己目標を書く。 生き物はお互いにどのように関わりながら生きているのでしょうか。 ・助け合いながら生きているということに気付く。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。 ○4,5時間目に作成した関わり合いや生き物の秘密を整理した表を参照するようにうながす。	
課題 解決 (個別)	自分と周りの人が、どのような関わり合いの中で生きているのか考えてみましょう。 ・周りの人との関わり合いについて考えたり、指導者の話を聞いたりする。 自分と周りの人は同じように助け合いながら生きていると思います。自分はどんな体験がありますか。付箋紙に書いてみましょう。 ・自分と周りの人との関わり合いについて考え、助け合いながら生きている場面を考え、付箋紙に書く。	○わかりやすい例示として、指導者と児童との関わり合いについて紹介する。 *「周りの人と助け合って生きている例」を挙げることで、児童が書く内容を理解することができるようにする。 ○机間指導を通して児童が書いている内容を把握する。	③自分と周りの人との関わり合いについて考え、作文に表している。(作文)
課題 解決 (個別・クラス)	付箋紙に書いたことを元にして、原稿用紙に書きましょう。 ・付箋紙を元にして、原稿用紙に「自分周りの人との関わり合い」について作文を書く。 みんなの前で発表したい人はいますか。 聞くポイント ①誰との関わりか ②いつ感じたか ③これからどうしていきたいか	*生き物がお互いに助け合いながら生きている姿に感動する気持ちを大切にすることで、自分と周りの人との関わり合いに置き換えて考えることができるようにする。 *用意した例文や、自分たちの書いた付箋紙を参照することで、原稿用紙に関わり合いについて書く方法を理解することができるようにする。 ○特に取り上げたい作品があれば紹介する。	【人間関係形成・社会形成能力】 自分が生活の中で、周りの人と関わり合いながら生きていることに気付いている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 ○次の時間は、みんなに紹介したい生き物を決め、その生き物を紹介する生き物図鑑を作っていくことを知らせる。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○図鑑に載せる生き物を、根拠を明らかにしながら決定することができるようにする。＜書く能力＞ →自己理解・自己管理能力

本時の展開

学習 目標	「本を読んで、生きもの図かんのにのせたい海の生きものをきめよう。」		
学習 展開	学習活動（発問）	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点（評価方法） ※準備物
課題設定	今日は生き物図鑑にのせたい生き物を決めましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・この時間の自己目標を書く。 生き物を決めたら、何をメモしたらいいかみんなで話し合いましょう。 ・図鑑のイメージをもって、どのような内容にすればいいか考える。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決（クラス）	生き物図鑑には、どんなことを書いたらいいでしょう。 ・生き物図鑑に書く内容について発表する。（図鑑の内容例） ・生き物の名前 ・絵や図 ・住んでいるところ ・特徴 ・生き物とのかかわり ・大きさ ・食べるもの ・みんなが関心を寄せそうなこと。	*「生きもの図かん」にはどんな内容を書くのかを話し合うことで、どんな観点で調べ、メモすればいいか理解することができるようにする。 ○一般的な図鑑を大型テレビに提示する。	書図鑑に載せる生き物を、<u>根拠を明らかにしながら決定している。</u> （ノート・ワークシート）
課題解決（個別）	今から、自分がのせたい生き物を本や図鑑を見て決めましょう。 ・図書室や教室の図鑑を参考にしながら生き物を選択する。 ・なぜその生き物に決めたのか、その根拠をノートに書く。	相自分が調べたい生き物が定まらない児童は、指導者と相談して決定していく。 ○児童がどの生き物を選択しているかを把握し、調べる生き物が重ならないようにする。 ○図書室にある生き物に関する本を教室の後ろに置いておき、日常読書として活用できるようにする。 ○次時までに、決まった項目を基に、「生きものカード」の様式枠を用意する。	【自己理解・自己管理能力】 なぜその生き物を決定したのかという根拠を示している。 ※生き物の図鑑や書籍 ※図書室や図鑑の確保
振り返り	決めた生き物を書きましょう。 ・決まった生き物、その理由、困ったことをノートに書く。 今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り（わからなかったこと） ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 ○根拠をもって決められたかどうかをノートで見るようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○学校の中における自分たちの役割を意識しながら、どのようなことに気を付けて図鑑を作成したらよいかを話し合うようにする。

＜話す・聞く＞ →人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習 目標	8時間目「生きものカードを、どんなことに気を付けて書いたらよいか考えよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	生きものカードをどんなことに気を付けて書いたらよいか考えましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・この時間の自己目標を書く。 初めに、○○先生がみんなにお願いがあると 言ってきた下さっています。 ・「学校みんなが楽しめるような図鑑をつくってくれたら、理科室の前に展示したい。」というオファーがあることを知る。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。 *担任外の先生にお願いされているということを知ることで、相手意識や責任感をもって図鑑作りに取り組もうとすることができるようにする。	※「生きものカード」の枠 ※担任外の指導者と連携する。
(ク ラ ス 課 題 解 決 グ ル ー プ)	読み手を意識しながら、どのようなことに気を付けて図鑑を書いたらよいか考えましょう。まずは、グループで出し合ひましょう。 ・丁寧に書く。・漢字には振り仮名を振る。 ・絵を大きくする。・字を大きくする。 ・みんなが、「へえ」と思うようなことを調べる。 みんなに発表してください。 ・クラスで話し合っ、書く内容を整理する。	*読み手を意識することで、人に読まれる文章を書く上で気を付けることを考えることができるようにする。	※図鑑の一ページの拡大図 ④自分たちの役割を意識しながら、どのようなことに気を付けて図鑑を作成したらよいかを話し合っている。(観察・発言)
課題 解決 (個 別 ・ グ ル ー プ)	読む人のことをよく考えながら、メモしたことを基にして、「生きものカード」の下書きをしましょう。 ・「生きものカード」の下書きを書く。 できた下書きをグループの友だちに見せて、アドバイスをもらいましょう。 ・アドバイスを生かして修正を加える。(アドバイス例) ・字の間違い ・丁寧さ ・色使い など	○決まった項目を基に、「生きものカード」の様式枠を用意する。 *グループで、下書きを読み合うことで、読み手を意識したよりよいものをめざそうとすることができるようにする。 *外部評価を受けることで、自分たちの役割を再認識し、緊張感や意欲をもってカード作りに取り組むことができるようにする。	【人間関係形成・社会形成能力】 どのような図鑑が学校のみんなが楽しめる図鑑なのか考えながら、話し合ったり、「生きものカード」の下書きを書いたりしている。
振 り 返 り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと ・クラスで決めた観点・読み手を意識してどのようなことを工夫したのかを振り返りに書く。	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○片仮名で書く語を文章の中で使うことができるようにする。＜言語＞

○ペアで助言をし合いながら、「生きものカード」に修正・加筆することができるようにする。＜書く能力＞ →人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習 目標	9 時間目『生きものカード』の下書きをしよう。 10 時間目『生きものカード』をきれいにしあげよう。(せい書)		
学習 展開	学習活動 (発問)	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	下書きを仕上げましょう。できた人は、先生に見てもらいましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・この時間の自己目標を書く。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	㊦片仮名で書く語を文章の中で使っている。(「生きものカード」の下書き)
(ペア) 課題 解決	・下書きを仕上げる。 ・ペアでお互いに助言し合いながら、よりよいものに仕上げる。 先生に下書きを見せて、意見を聞きましょう。	○活動が進むたびに内容をチェックすることで、児童の活動を把握する。 *ペアで、できたカードを紹介し合うことで、読み手を意識したよりよいものをめざそうとすることができるようにする。	㊦ペアで助言をし合いながら、「生きものカード」に修正・加筆している。(「生きものカード」・観察)
課題 解決 (個別)	下書きができた人は、本番の紙にかきましょう。 ・本番の紙にかく。 先生や友だちに一度、見てもらいましょう。 ・最終チェックを受ける。 ・句読点が抜けていないか。 ・誤字・脱字はないか。 ・片仮名や漢字を意識しているか。 ・生き物図鑑を完成する。	*読み手を意識することで、人に読まれる文章を書く上で気を付けることを考えることができるようにする。 *チェックを受けることで、自分たちの役割を再認識し、緊張感や意欲をもってカード作りに取り組むことができるようにする。	【人間関係形成・社会形成能力】 よりよい図鑑にするために、アドバイスを生かしながら、「生きものカード」を仕上げている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第2学年 国語科 単元名「だいじなところに 気をつけて読もう」(11 時間目/全 11 時間)
教材名「サンゴの海の生き物たち」話す・聞く2 書くこと4 読むこと4

本時の目標

○読む人の立場に立って、「生きもの図かん」を紹介する方法を話し合うようにする。＜話す・聞く＞ →人間関係形成・社会形成能力

○単元を振り返り、自分の学習への理解や困り、友だちのよさを見つけようとする。＜関心・意欲・態度＞ →キャリアプランニング能力

本時の展開

学習 目標	「たくさんの人に読んでもらえる方ほうを考えよう。」		
学習 展開	学習活動 (発問)	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	「生きもの図かん」が完成しました。どのような工夫をしたら、たくさんの人に読んでもらえるか考えましょう。 ・本時の学習の流れを知る。 ・この時間の自己目標を書く。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	※完成した生きもの図かん ①読む人の立場に立って、「生きもの図かん」を紹介する方法を話し合っている。(観察・発言)
課題 解決 (クラス)	・「生きもの図かん」を学校のたくさんの人たちに読んでもらうために、宣伝方法や工夫について考える。 どんな工夫ができるでしょうか。 ・グループで、どんな工夫ができるか案を出す。 ・クラスで、どんな工夫ができるかを考える。(案の例) ★児童集会で呼びかける。★ポスターを作る。 ★意見箱を作る。 ★給食放送で放送してもらう。 ★朝の時間にクラスを回る。 ・たくさんの人に読んでもらうための工夫について考え、よいアイデアを実行する。 ・もう一度自分の「生きものカード」を振り返り、直せるところは直すようにする。	○どのように図鑑を展示すればいいかを話し合い、「たくさんの人に読んでもらうための工夫」について考えるようにする。 *相手意識をもたせることで、より主体的に活動することができるようにする。	【人間関係形成・社会形成能力】 読み手の立場に立って、話し合っている。
振り返り	単元の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。単元を通して、①学習のめあてに対してどうだったか。②がんばった・できたこと ③できなかったこと・わからなかったこと ④友だちのよいところ ⑤これからの学習でがんばりたいこと ・振り返り活動に取り組んで感じたことを書く。	○単元を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、単元通しての自分の成長を振り返る。	②単元を振り返り、自分の学習への理解や困り、友だちのよさを見つけようとしている。(振り返りの記述) 【キャリアプランニング能力】 単元を通しての自分のがんばりや困り、友だちのよさなどに気付いている。

学習の目標		「サンゴの海のイメージをふくらまそう。」	
出てきた生きものは？ イソギンチャク クマノミ（二モ） ホンソメワケベラ 大きな魚 サンゴ？ 小さな魚？	●ビデオをみて	●本話を聞いて	六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお サンゴの海のイメージをふくらまそう。 「すごいな。」とかんどうしたことを メモにとりながら、聞きましよう。

学習の目標		「読みのめあてを考えよう。」	
③ 「おもしろいな。」	② 「なんでだろう。どういういみだろう。」	（回し読みのルール）	六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお 読みのめあてを考えよう。 グループで、回し読みをましよう。

学習の目標		「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて知ろう。」	
・読む人 二〜三人 ・イソギンチャク 一人 ・クマノミ 一人 ・大きな魚 一人 ・小さな魚 一人	③⑥ だんらくを読みましよう。	（役割読みのルール）	六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについて知ろう。 グループで、やくわり読みをましよう。

学習の目標「イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを、ひょうや絵でまとめよう。」

たがいにもり合っている。

イソギンチャク

クマノミ

- 大きい
- 細長いたくさんの
- しょく手
- しょく手には、どくのはりがある。
- 小さなどうぶつをつかまえて食べている。
- 大きな魚は、イソギンチャクをこわがって、近づかない。
- クマノミをまもっている。
- イソギンチャクを食べにくる小さな魚がいる。
- クマノミがおいはらってくれる。

- きれいなオレンジ色の魚。
- さされるとたいへん体が、ねばねばしたえきでおおわれている。
- だから、さされない。
- イソギンチャクの中にいればあんぜん。
- 小さな魚が近づいてくると、カチカチと音を立てて、おいはらってしまふ。
- イソギンチャクをまもっている。

六 だいじなところに気をつけて読もう
「サンゴの海の生きものたち」
もとかわ たつお

イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを、ひょうや絵でまとめよう。

クラスで話し合ってひょうを作りましょう。

学習の目標「ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを知り、ひょうや絵でまとめよう。」

たくさんの生きものたちが、さまざまにかかわり合っている。

ホンソメワケベラ

大きな魚たち

- 美しい魚。
- 明るい青色の体に、頭からしっぽにかけて黒いすじが一本ある。
- 体の長さは、十二センチメートルほど。
- 小さい魚。
- 大きな魚の口の中に入っていく。
- 大きな魚には食べられない。
- そうじ魚とよばれている。
- ただ、そうじをしているわけではない。
- そうじをしたら虫が、食べものになる。

- 大きな魚たちは、体や口の中に入った虫を、ホンソメワケベラがとって、きれいにそうじしてくれるのを知っている。
- ホンソメワケベラを食べない。

六 だいじなところに気をつけて読もう
「サンゴの海の生きものたち」
もとかわ たつお

ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを知り、ひょうや絵でまとめよう。

⑦⑧⑨のだんらくを読みましよう。

クラスで話し合ってひょうを作りましょう。

※6 時間目は板書計画なし。

学習の目標「本を読んで、生きもの図かんにのせたい海の生きものをきめよう。」

(カードの例)

- 名前
- 大きさ
- 食べるもの
- どこにすんでいるか
- とくちょう
- たすけあっていること
- 絵や図

六 だいじなところに気をつけて読もう
「サンゴの海の生きものたち」
もとかわ たつお

本を読んで、生きもの図かんにのせたい海の生きものをきめよう。

書いたらいいと思うこと。

りゆうを考えながら、えらびましよう。

学習の目標 「生きものカードを，どんなことに気をつけて書いたらよいか考えよう。」	
	六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお
	みんなが楽しめる図かんは、どのような図かんか考えよう。 どのようなことに気を付けて図かんをかいやすいかな。 ● ていねいにかけている。 ● 絵がきれいな方がいい。 ● みんなが「へえ」とかんしんするようなこと。 ● くわしく書かれている方がいい。

※9, 10 時間目は板書計画なし。

学習の目標 「たくさんの人に読んでもらえる方ほうを考えよう。」	
	六 だいじなところに気をつけて読もう 「サンゴの海の生きものたち」 もとかわ たつお
	たくさんの人に読んでもらえる方ほうを考えよう。 読んでもくれる人の気持ちになって考えよう。 ● じどうしゅう会でしようかいしてもらおう。 ● きゅう食ほうそうで、ほうそうしてもらおう。 ● ポスターを作る。 ● 朝の時間に、クラスをまわる。 ● かんそうを書けるノートをよういする。

第4学年 国語科 単元の指導計画案

単元 (教材)	説明のしかたについて考えよう アップとルーズで伝える 写真と文章で説明しよう 「仕事リーフレット」を作ろう		読むこと (8時間) 10月
			書くこと (7時間) 11月
目 標	・写真と文章を対応させながら、段落相互の関係をとらえながら読むことができるようにする。 ・取材した事柄について、写真と文章を対応させ、中心が明確になるように構成を考えて文章を書くことができるようにする。		
単元目標 と生き方 探究教育 との関連	※グループで指摘し合いながら、読み手を意識したリーフレットを作成している。(人間関係形成・社会形成能力) ※職業について考える活動や、実際に働いている人にインタビューする活動を通して、人や社会とのつながりを実感している。(人間関係形成・社会形成能力) ※自分の考えや判断に根拠をもって、話し合い活動や調べ学習に取り組んでいる。(自己理解・自己管理能力) ※振り返り活動を通して、自分の成長や困りを的確に把握している。(自己理解・自己管理能力) ※教材文の問いを見つけたり、既習事項を生かしてリーフレット作りに取り組んだりしている。(課題対応能力) ※学習計画を立て、計画に沿って活動しようとしている。(キャリアプランニング能力) ※キャリアプランの作成を通して、将来の自己像のイメージを育んでいる。(キャリアプランニング能力)		
単元の 評価規準	・国語への関心・意欲・態度 ・読む能力 ・書く能力 ・言語についての知識・理解・技能	・写真と文章を対応させて興味をもって読もうとしている。 ・進んで取材し、わかりやすくまとめて書こうとしている ・写真と文章を対応させて読み、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめている。 ・それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読んでいる。 ・相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べ、伝えたいことを選んで書いている。 ・調べた内容や、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成して書いている。 ・接続語が果たす役割を理解している。 ・句読点を適切に打ち、必要に応じて改行して書いている。	
時	学習活動（●中心活動 ・活動内容）	*支援 ○留意点	評価の視点（評価方法） ※準備物 →評価と関連している 生き方探究教育の力
1	「仕事リーフレット」を作って、学校のみんなに読んでもらう。 ●「仕事リーフレット」を作って、学校のみんなに読んでもらうという単元の学習課題を知り、学習計画を立てる。 ・社会には、どのような仕事があるか話し合う。 ・『仕事リーフレット』を作ろう』を通読する。 ・リーフレットの見本を見たり、本文を読んだりして、リーフレットについて構成を知る。	※リーフレットの実物を見せることで、作成するイメージをもつことができるようにする。	⑦ <u>学習計画を立てることを通して、「仕事リーフレット」の作成に興味をもって取り組もうとしている。(観察・発言)</u> →キャリアプランニング能力
2	段落どうしの関係に注意して読み、筆者の上手な説明の仕方を見つけよう。 ●「仕事リーフレット」の作成に向けて、「アップとルーズ」を読み、問いを見つける。 ・全文を通読する。 ・クラス全体で、問いを考える。 問1:「アップ」「ルーズ」とは何か。 問2:「アップ」「ルーズ」には、どのような違いがあるのか。		⑧ <u>「アップ」と「ルーズ」についての問いを見つけ、説明的な文章を、興味をもって読もうとしている。(観察・発言)</u> →課題対応能力
3 ・ 4	●それぞれの段落に何が書いてあるかを読み取り、写真を説明している段落を見つける。 ・写真を利用し、どの写真の内容が、どの段落に書かれているかを考える。 ・1～3段落の関係を、図で表す。 ・4～6段落の関係を、図で表す。 ・接続語に着目して、アップとルーズの「伝えられること」と「伝えられないこと」を読み取ってまとめる。 ・対比の関係にある段落を見つける。 ・問いの段落を見つける。	○「アップ」と「ルーズ」に分けて、まとめるようにする。 ○接続語「しかし」「でも」に着目させる。	⑨ <u>自分の考えの根拠を明らかにして、写真と本文の対応関係や段落相互の関係を理解している。(発言・ノート)</u> →自己理解・自己管理能力 ⑩ <u>接続語の働きに着目しながら読んでいる。(観察)</u>

5 ・ 6	●段落相互の関係を考えながら読み、接続語や説明的文章の組み立て方を考える。 ・7, 8 段落を読み、内容を読み取るとともに、それぞれの段落相互の関係を図で表す。 ●段落ごとのつながりに注意して読み、目的に応じた伝え方について考える。 ・それぞれの段落の役割を考え、内容を短くまとめる。 ・文章全体を概観する。	*段落相互の関係を図に表すことで、筆者の思いや考えに気付くことができるようにする。	⑧ <u>グループやクラスで考えを交流し</u>、段落に見出しを付けることで、段落相互の関係を理解している。(観察・ノート) →人間関係形成・社会形成能力 ⑧ <u>クラスで考えを交流し</u>、文章全体の構成と段落との関係を理解している。(観察・ノート) →人間関係形成・社会形成能力
7	●筆者の説明の特徴をとらえてグループで交流し、説明の仕方の工夫をまとめる。 ・p. 37 の<u>言葉</u>を読む。 ・説明の違いについて話し合う。 ・グループで、筆者の説明の特徴を話し合う。 ・この単元で学んだ「上手な説明の仕方」についてまとめる。	○対比が繰り返し使われていることや、文末が名詞で終わっていることに気付くようにする。 ○「できること」と「できないこと」が順序立てて書かれていることに気付くようにする。	⑧ <u>説明文を読み</u>、説明の工夫について<u>グループで交流し</u>、考えをまとめている。(発言・ノート) →人間関係形成・社会形成能力
8	●「アップとルーズで伝える」の学習で学んだことを生かして、新聞やちらしから、アップとルーズの使い分けのよさや、上手な説明の仕方について考える。 ・仕事リーフレットの制作に向けて、身の回りのよい手本となるものを探す。 ・写真の撮り方や、インタビューの仕方について考える。	○「アップ」と「ルーズ」の映像を大型テレビで映す。(月の様子や、植物園の花と花見客の様子など) ○体言止めの書き方などを着目させる。	※新聞やちらし、リーフレットの見本など ⑧ <u>「運動会リーフレット」の作成を通して</u>、写真の使い分けや、説明の仕方についてまとめている。(観察・ノート) →課題対応能力
9 ・ 10	●取材する職業を決める。 ・提示されたお店の中から、興味のある仕事を選択する。 ・関心のあるお店を選び、なぜその仕事を選択したのかという理由をノートに書く。 ●<取材のためのメモ>を作る。 ・取材したいことや撮りたい写真や出来上がったリーフレットのイメージを具体的に考え、<取材のためのメモ>を作成する。 ・取材の計画を立てる。 ◆いついくのか ◆だれに話を聞くのか ◆どのくらいの時間が必要か ・<取材のためのメモ>に「仕事リーフレット」を作るために必要な事柄が書かれているかグループで交流する。 ・<取材のためのメモ>の「写真」と「たずねること」の欄をグループで交流し、「アップ」の写真と「ルーズ」の写真を交えて取材しようとしているかなどを話し合う。	○事前に、地域の仕事でインタビューに答えてくれそうなお店や人を把握し、提示する。 ○だれが、どこで、いつ、何をしたらかなどを質問すると仕事の内容がわかることを伝える。 *「どのように」を使った質問を考えさせることで、仕事の大変さや素晴らしさに着目することができるようにする。 ○取材メモの中に、「仕事の内容」「仕事の工夫・苦労」「仕事の内容がわかる写真」などの項目を挙げるようにする。	⑧ <u>選んだ理由を明らかにした上で</u>お店を選択し、取材メモを完成させている。(ノート・メモ) →自己理解・自己管理能力 ⑧ <u>必要な事柄を落とさずに取材できるように</u>、<u>グループでメモの内容を交流し</u>、<u>指摘し合っている</u>。(観察・メモ) →人間関係形成・社会形成能力
11 ・ 12	●取材をする。 ・聞きたいことを落とさずに取材をし、取材メモに書き込む。 ・「アップ」や「ルーズ」の写真を撮る。		⑧ <u>取材メモを基に</u>、<u>進んで取材をし</u>、聞いてわかったことをメモに書いている。(ノート) →人間関係形成・社会形成能力

13	●写真を選び、取材したことをまとめる。 ・取材したことから必要なことを選び、知らせたいことを説明する文章を書く。 ・写真を選び対応する文章を書く。	○既習の「上手な説明の仕方」を想起させる。 ○取材したことから特に知らせたいことを選び、200字～300字程度で説明文を書く。	㊦ 既習の「<u>上手な説明の仕方</u>」を生かし、特に知らせたいことについて、写真と対応させながら書いている。(リーフレット) →課題対応能力
14	●文章と写真の割付を工夫して、リーフレットを完成させる。 ・文章の構成を考えて書き、推敲する。 ・グループで話し合い、訂正箇所を指摘し合う。	○調べてきたこと効果的に伝える方法を考えて、書く順番を考えるようにする。 ○文末表現をそろえることを確かめる。	㊦ <u>グループで指摘し合い</u>、句読点の打ち方や改行する箇所を考えて書いている。(リーフレット) →人間関係形成・社会形成能力 ㊦ <u>読み手を意識し</u>、構成を考え、敬体と常体が混在しないように書いている。(リーフレット) →人間関係形成・社会形成能力
15	●仕上げたリーフレットの発表会をする。 ・わかりやすい発表をめざす。 ・聞き手は「仕事リーフレット」の表現や内容について、感想を言う。 ・掲示した仕事リーフレットをたくさんの人に読んでもらえるような工夫を考える。	*ゲストティーチャーを招くことで、相手意識をもった発表ができるようにする。 *よいところや工夫などを交流することで、自信をもって発表することができるようにする。	㊦ <u>グループで発表し合い</u>、友達の書いた文章を読んで、わかったことやもっと知りたいことを伝えている。(観察・ノート) →人間関係形成・社会形成能力

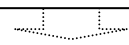
学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名『仕事リーフレット』を作ろう」
 読むこと8 書くこと7 (1時間目/全15時間)

本時の目標

○学習計画を立てることを通して、「仕事リーフレット」の作成に興味をもって取り組んでいる。＜関心・意欲・態度＞

→キャリアプランニング能力

本時の展開

学習 目標	「学習計画を立てよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	・今日から始まる学習について知る。 - 今日から、「仕事」について考える勉強をします。 ・本時の学習のめあてを知る。 - 今日は、これからの授業で、どのような学習をするのかを知って、計画を立てます。 ・自己目標を設定する。 - 今日、自分ががんばりたいことをノートに書きましよう。 ・自己目標を発表する。 ・単元の学習内容を知る。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。 (自己目標の観点例) ①「学習のめあて」に対してがんばりたいこと ②発表のこと ③聞くこと ④書くこと ⑤そのほか	※自己目標の観点を示したもの
課題 解決 (グループ・個別)	・仕事について考える。 - 今からグループになって、思いつく仕事を紙に書いてください。 ・グループの中で、「書く人」「貼りに来る人」を決める。 ・「書く人」が、グループの中で出た仕事を付箋紙に書いていく。 ・「貼りに来る人」が、付箋紙を貼りに行く。 ・興味のある仕事について交流する。 - 興味のある仕事について、調べたことをリーフレットにまとめる勉強をしていきます。 ・『仕事リーフレット』を作ろうを読み、伝え方のポイントを考える。 ・リーフレットについて知る。 ・興味のある仕事をノートに一つ選ぶ。	*グループでウェビングマップを作成することで、様々な仕事について考えることができるようにする。 *役割分担をさせる。 *作成したウェビングマップに着目させる。 ○文章やレイアウトだけでなく、写真が伝える情報の大切さに目を向けるようにする。 *リーフレットの実物を見せることで、特徴に気付くことができるようにする。	※模造紙 ※黒ペン ※付箋紙 ※見本のリーフレット
課題 解決 (クラス)	これからの学習の計画を立てましよう。 ・これからの学習の流れを、ノートにまとめる。 (例) 1時間目：学習の計画を立てる。 2～7 時間目：「アップとルーズ」を読んで、説明の仕方を勉強する。 8～10 時間目：仕事リーフレットを作る準備をする。 11～15 時間目：仕事リーフレットを作って発表する。 →だれに？→全校の人 一番楽しみなところは、何時間目ですか。 ・ノートに楽しみな時間と、なぜ楽しみなのかを記述する。	・ ・ ・ ・ ④ ③ ② ① 「仕事リーフレット」を作るまでの学習計画	※学習計画を立てるための模造紙 ⑧ 学習計画を立てることを通して、「仕事リーフレット」の作成に興味をもって取り組もうとしている。(観察・発言)  【キャリアプランニング能力】 先を見通して学習計画を立てている。
振り返り	今日の学習を振り返りましよう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。 ①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○「アップ」と「ルーズ」についての問いを見つけ、説明的な文章を、興味をもって読もうとする。＜関心・意欲・態度＞ →課題対応能力

本時の展開

学習 目標	「問いを見つけよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	上手な説明の仕方を考えるために、『アップとルーズで伝える』を読んでいきましょう。 「仕事リーフレット」の作成に向けて、『アップとルーズで伝える』を読み、問いを見つけるといふ本時のめあてを知る。 - 自己目標をノートに書いて発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題 解決 (個別)	- 題名について考える。 『「アップ」と「ルーズ」で伝える』という題名を見て、知りたいと思ったことはありますか。 - 問1:「アップ」「ルーズ」とは何か、ということについて明らかにするといふ課題を設定する。 - 全文を聞いて、この説明文を通して、筆者がみんなに伝えたかったことは何か考えましょう。 - 全文の範読を聞く。 - 段落番号を付ける。	○題名から、知っていることや疑問に思ったことを出し合うようにする。	関「アップ」と「ルーズ」についての問いを見つけ、説明的な文章を、興味をもって読もうとしている。(観察・発言)
課題 解決 (個別)	「アップ」と「ルーズ」の意味を考える。 「アップ」と「ルーズ」について説明している文に線を引きましょう。 ★「アップ」→ある部分を大きくうつすとり方 ★「ルーズ」→広いはんいをうつすとり方 - 筆者の伝えたいことを考える。 - 筆者がみんなに伝えたかったことは何でしょう。グループで話し合しましょう。 - この説明文では、どのようなことをみんなに伝えたいのでしょうか。 - グループで話し合ったことを発表する。 - 問2:アップとルーズでは、どのような違いがあるのかという課題を設定する。	*問2が出ない場合は、3段落に着目させる。 ○「～でしょう。」という語尾に着目させることで、問いの文を見つけることができるようにする。	【課題対応能力】 これから明らかにしていく学習課題を見つけている。
振り 返り	今日の学習で、筆者の「上手な説明の仕方」を見つけたことができましたか。 「上手な説明の仕方」について、気付いたことを発表する。 ★問いの文がある。 - 今日の学習を振り返りましょう。 - 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

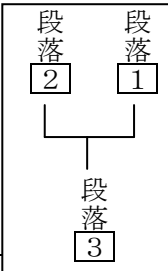
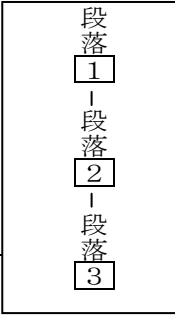
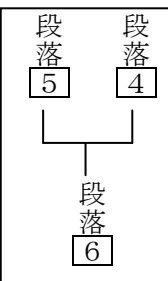
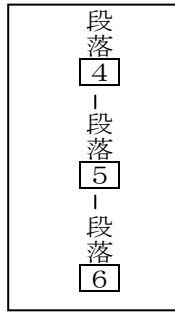
学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名「『仕事リーフレット』を作ろう」
 読むこと8 書くこと7 (3・4時間目/全15時間)

本時の目標

○自分の考えの根拠を明らかにして、写真と本文の対応関係や段落相互の関係を理解することができるようにする。＜読む能力＞
 →自己理解・自己管理能力

○接続語の働きに着目しながら読むことができるようにする。＜言語＞

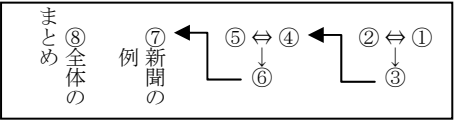
本時の展開

学習目標	「1～3 段落を読みすすめよう。」 「4～7 段落を読みすすめよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	- それぞれの段落に何が書いてあるかを読み取り、写真を説明している段落を見つけるという本時の学習のめあてを知る。 - 今日は、写真を説明している文章を見つけて、段落の内容を読み取りましょう。 - 自己目標をノートに書いて発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決 (個別)	1～3 段落を読む。 - 写真を利用し、どの写真の内容が、どの段落に書かれているかを考える。 - 二つの写真を説明している文章に線を引きましょう。 - 線を引いた部分を発表する。 - 写真に短い見出しを付ける。 - 写真に短い言葉で見出しを付けるとしたら、どんな見出しがいいと思いますか。 - 自分の考えた見出しを発表する。	○「アップ」と「ルーズ」に分けてまとめるようにする。	※写真を拡大した掲示物 ① 自分の考えの根拠を明らかにして、写真と本文の対応関係や段落相互の関係を理解している。(発言・ノート)
課題解決 (クラス)	1～3 段落の関係図を考える。 1～3 段落の関係は、どちらが正しいでしょうか。 - 二つの関係図から、どちらが正しいかを考え、根拠を明らかにしながら話し合う。 - 段落の関係を知る。 - 今日の学習で、筆者の「上手な説明の仕方」を見つけることができましたか。 3 段落までの「上手な説明の仕方」について、気付いたことを発表する。	関係図 1  関係図 2 	【自己理解・自己管理能力】 自分の考えや判断の根拠を明らかにしながら、意見を述べたり書いたりしている。
課題解決 (個別)	4～6 段落を読む。 - 写真を利用し、写真の内容が書かれている文を見つける。 - 二つの写真を説明している文章に線を引きましょう。 - 線を引いた部分を発表する。 - 接続語に着目し、アップとルーズの「伝えられること」と「伝えられないこと」を読み取ってまとめる。 - 問2の、「アップとルーズのちがいがいい」を考えましょう。 - アップとルーズの違いについて発表する。 - 伝えられることと、伝えられないことがあることを理解する。	○接続語「しかし」「でも」に着目させる。 ○「このように」という指示語に着目させる。	※写真を拡大した掲示物 ② 接続語の働きに着目しながら読んでいる。(観察)
課題解決 (クラス)	4～6 段落の関係図を考える。 4～6 段落の関係は、どちらが正しいでしょうか。 - 二つの関係図から、どちらが正しいかを考え、根拠を明らかにしながら話し合う。 - 段落の関係 (対比の関係) (説明と結論の関係) を知る。 - 今日の学習で、筆者の「上手な説明の仕方」を見つけることができましたか。 4～6 段落までの「上手な説明の仕方」について、気付いたことを発表する。	関係図 1  関係図 2 	
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①ががんばった・できたこと ②困り (わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○グループやクラスで考えを交流し、段落に見出しを付けることで、段落相互の関係を理解することができるようにする。＜読む能力＞
 ○クラスで考えを交流し、文章全体の構成と段落との関係を理解することができるようにする。＜読む能力＞ →人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習目標	「段落の関係について話し合おう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	・本時のめあてを知る。 - 今日は、段落同士の関係について話し合うことで、筆者の上手な説明の仕方について探りましょう。 ・自己目標を設定して発表する。 6段落では、テレビでの「アップ」と「ルーズ」の使い分けについて書かれていましたね。7, 8段落には、どんなことが書かれているのでしょうか。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決 (クラス)	・7, 8段落を読み、内容を読み取る。 7段落で、筆者が伝えたいことは何ですか。 ★新聞について書かれている。 ★テレビとは違う例が書かれている。 ★新聞でも、写真を載せるときに、アップとルーズの工夫をしていることが書かれている。 - みんなに見てもらいたい新聞を持ってきました。 ・新聞の例を提示し、写真の使い方の工夫について話し合う。 8段落で、筆者が伝えたいことは何ですか。 ★文章全体のまとめが書かれている。 ★受け手が知りたいこと、送り手が伝えたいことを考えて、アップとルーズを使い分けることが大切だということが書かれている。 - 今日の学習で、筆者の「上手な説明の仕方」を見つけることができましたか。 ・7, 8段落での「上手な説明の仕方」について、気付いたことを発表する。	*新聞を例示することで、実際に工夫されている様子を理解することができるようにする。 ○8段落は、まとめの段落であることを理解させる。	⑧グループやクラスで考えを交流し、段落に見出しを付けることで、段落相互の関係を理解している。(観察・ノート) 【人間関係形成・社会形成能力】 違う考えに触れたり、自分の考えを述べたりしながら、話合いに楽しく参加している。
課題解決 (グループ)	・p.36の「たいせつ」を読む。 ・1～8段落に短い見出しを付ける。 - これで、全ての段落について書かれている内容を勉強しました。それぞれの段落に、短い見出しを付けましょう。 (例)1段落 ルーズで見た、サッカー場全体の様子 2段落 アップで見た、選手の様子 3段落 アップとルーズの説明と問いかけ ・それぞれのグループで話し合った見出しを発表し、交流する。 4～6段落に見出しを付けましょう。グループで話し合いましょう。 (例)4段落 アップでわかることわからないこと 5段落 ルーズでわかることわからないこと 6段落 目的におうじて使い分けの大切さ - みんなで、7, 8段落についても考えましょう。 (例)7段落 新聞の例 8段落 まとめ (相手や意図におうじて使い分けの大切さ)	*段落相互の関係を図に表すようにすることで、筆者の思いや考えに気付くことができるようにする。 ○対比…対比している関係 類似…内容が似ている関係 補足…説明を補っている関係 例示…例を示している関係 というような段落の関係があることを意識させる。	⑧クラスで考えを交流し、文章全体の構成と段落との関係を理解している。(観察・ノート) 【人間関係形成・社会形成能力】 違う考えに触れたり、自分の考えを述べたりしながら、話合いに楽しく参加している。
課題解決 (クラス)	・1～8段落の関係を図に表す。 (例) 	*段落相互の関係を概観することで、伝わりやすい説明文の書き方について知ることができるようにする。	
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り (わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名『仕事リーフレット』を作ろう
 読むこと8 書くこと7 (7時間目/全15時間)

本時の目標

○説明文を読み、説明の工夫についてグループで交流し、考えをまとめることができるようにする。＜読む能力＞

→人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習 目標	「筆者の説明の仕方を考えよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	・本時の学習のめあてを知る。 - 筆者の説明の特徴を考えて、グループで話し合っ、説明の上手なところを見つけましょう。 ・自己目標を設定して発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題 解決 (個別)	・p.37の言葉を読む。 37ページの言葉を読みましょう。 - 説明されている言葉に線を引きましょう。 ★「ルーズ」 ★郡 ★「正方形」 - 説明している文に波線を引きましょう。 ●広いはんいをうつすとり方 ●都道府県の一部で、町村をふくんだところ ●四つの辺の長さがみな等しく、四つの角がみな直角である四角形 - 下の段では、説明の仕方がどのように変わっていますか。 ★先に、説明されている言葉が来ている。 - このように、説明の仕方にはいろいろな方法があります。	*種類の違う線を引かせることで、上段の文と、下段の文の違いがわかりやすくなるようにする。	
課題 解決 (グループ・クラス)	・グループで、筆者の説明の特徴を話し合う。 - 筆者の説明の仕方には、どのような工夫があるか、グループで探してまとめましょう。 ・この単元で学んだ「上手な説明の仕方」についてまとめる。 - グループで見つけた説明の仕方を発表しましょう。 ★はじめに画面(写真)の説明をしてから、アップとルーズについて説明している。 ★接続語を使って、対比させながら説明している。 ★他の例(新聞)を挙げて、説明することで、説得力がある説明になる。 ★大切なことを、最後に説明している。	○「できること」と「できないこと」が順序立てて書かれていることに気付くようにする。 ○対比が繰り返し使われていることや、文末が名詞で終わっていることに気付くようにする。 *今までの学習を掲示物やノートを見て振り返ることで、説明の仕方を見つけることができるようにする。 ○見つけた説明の仕方を掲示物にまとめ、リーフレット作りに生かすようにする。	説説明文を読み、説明の工夫についてグループで交流し、考えをまとめている。(発言・ノート) 【人間関係形成・社会形成能力】 グループで話し合い、協力して、説明の特徴を考えている。
振り 返り	今日学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。 ①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名『仕事リーフレット』を作ろう
 読むこと8 書くこと7 (8時間目/全15時間)

本時の目標

○「運動会リーフレット」の作成を通して、写真の使い分けや、説明の仕方についてまとめることができるようにする。＜読む能力＞

→課題対応能力

本時の展開

学習目標	「テレビ以外で、アップとルーズの使い分けを見つけよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	「アップとルーズで伝える」の学習で学んだことを生かして、新聞やちらしから、アップとルーズの使い分けのよさや、上手な説明の仕方について考える。 今日は、雑誌や新聞記事から、アップとルーズの使い方を学びましょう。 - 自己目標を設定して発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。 ○仕事リーフレットの制作に向けて、身の回りのよい手本となるものを探すという学習の目的を十分に理解させる。 ○「アップ」と「ルーズ」の画像を大型テレビで映す。(雑誌や新聞記事など) ○体言止めの書き方に着目させる。	※アップとルーズの写真をわかりやすく示した雑誌や紙面
(グループ) 課題解決	- グループで、ルーズの写真とアップの写真を見つけ、それぞれの写真の内容について説明を考える。 写真を見て、ルーズの写真を一枚、アップの写真を一枚選び、説明の文を考えてみましょう。 - 運動会の様子を写した写真を準備し、グループごとに「運動会リーフレット」を作る。	*児童にとって身近な写真を準備することで、リーフレットの作成に対する関心を高めることができるようにする。	※運動会のときの写真
課題解決 (クラス)	- 運動会リーフレットを作成してみて感じたことを交流する。 リーフレットを作ってみて、難しかったところや工夫したところを発表しましょう。 - 本番のときに気を付けたいことを話し合う。 - 写真の撮り方や、インタビューの仕方について考える。	○仕事リーフレットを作成するイメージをもつようにする。	読「運動会リーフレット」の作成を通して、写真の使い分けや、説明の仕方についてまとめている。(観察・ノート) 【課題対応能力】 本番の仕事リーフレットをイメージしながら、身近な行事の写真を説明する仕方を考えている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名「『仕事リーフレット』を作ろう」
 読むこと8 書くこと7 (9・10時間目/全15時間)

本時の目標

○選んだ理由を明らかにした上でお店を選択し、取材メモを完成させることができるようにする。＜書く能＞ →自己理解・自己管理能力
 ○必要な事柄を落とさずに取材できるように、グループでメモの内容を交流し、指摘し合うことができるようにする。＜書く能力＞
 →人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習目標	「取材する仕事を決めて、『取材メモ』を作ろう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	- 自己目標を設定する。 - 取材する職業を決める。 - 取材するお店を決めましょう。 - 興味のある仕事の中から、取材する職業を決め、グループにわかれる。 - なぜ、そのお店にインタビューに行くのか、理由をノートに書く。	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 * 自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。 ○事前に、地域の仕事でインタビューに答えてくれそうなお店や人を把握し、提示する。 * 理由を明らかにすることで、インタビューに行く目的を意識することができるようにする。	書 選んだ理由を明らかにした上でお店を選択し、取材メモを完成させている。(ノート・メモ) 【自己理解・自己管理能力】 自分の関心に照らして、リーフレットにする仕事を決定する。
課題解決 (グループ)	＜取材メモ＞を作る。 - 取材するときに、どのような写真を撮るか、どのようなインタビューをするかを考えたメモを作りましょう。 - 取材したいことや撮りたい写真や出来上がったリーフレットのイメージを具体的に考え、＜取材のためのメモ＞を作成する。 - 取材の計画を立てる。 ◆いついくのか。 ◆どのお店に行くのか。 ◆何を聞くのか。 ◆どのような写真を撮るのか。 ＜取材のためのメモ＞に「仕事リーフレット」を作るために必要な事柄が書かれているかグループ内で交流する。 - 取材の練習をする。 - お店役の人とインタビュー役の人にわかれて練習しましょう。 - 練習を通して、グループで質問内容を精査し、本番に備える。	○だれが、どこで、いつ、何をするかなどの質問を考えるようにする。 ○取材メモの中に、「仕事の内容」「仕事の工夫・苦労」「仕事の内容がわかる写真」などの項目を挙げるようにする。 ○グループごとにカメラを用意する。 ○写真を撮影するときは、許可なく人物の顔を取ることをないように指導する。	書 必要な事柄を落とさずに取材できるように、グループでメモの内容を交流し、指摘し合っている。(観察・メモ) 【人間関係形成・社会形成能力】 グループで取材内容を相談したり指摘し合ったりして、精査している。 ※カメラ
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名「『仕事リーフレット』を作ろう」
 読むこと8 書くこと7 (11・12時間目/全15時間)

本時の目標

○取材メモを基に、進んで取材をし、聞いてわかったことをメモに書くことができるようにする。＜書く能力＞→人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習 目標	「取材しよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	- 自己目標を設定する。 - 本時の活動を見通す。 今日は取材に行きます。 - 以下のことを確認する。 2時間の流れを確認しましょう。 ★安全に気を付けること ★礼儀やあいさつ ★持ち物 ★撮影のきまり ★時間と場所	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題 解決 (グループ)	- お店に取材に行く。聞きたいことを落とさずに取材をし、取材メモに書き込む。 「アップ」や「ルーズ」の写真を撮る。	○グループ活動が把握できるように、他の教員に協力を求めるなど、体制を工夫する。	書取材メモを基に、<u>進んで取材をし</u>、聞いてわかったことをメモに書いている。(ノート)
課題 解決 (個別)	取材の終わったグループから、以下の手順でリーフレット作りに取り組む。 ①指導者にカメラを渡す。 ②どこにどの内容を記すかを決める。 ③文章をノートに下書きする。	*リーフレットの見本を提示しておくことで、完成のイメージをもつことができるようにする。	【人間関係形成・社会形成能力】 自分の役割を果たしつつ、地域の人たちとのつながりを感じながら、グループで協力して取材している。 ※仕事リーフレットの見本
振り 返り	今日の学習を振り返りましょう。 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名『仕事リーフレット』を作ろう
 読むこと8 書くこと7 (13時間目/全15時間)

本時の目標

○既習の「上手な説明の仕方」を生かし、特に知らせたいことについて、写真と対応させながら書くことができるようにする。＜書く能力＞
 →課題対応能力

本時の展開

学習目標	「写真を選んだり、リーフレットを書いたりしよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	- 取材に行って感じたことを交流する。 - 昨日の取材で、どのような人とのつながりを感じましたか。 - 自己目標を設定する。 - 本時のめあてを知る。 写真を選び、取材したことをまとめて、仕事リーフレットを作りましょう。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決 (個別)	できあがったリーフレットはだれに読んでもらいますか。 ★学校みんな ★低学年 ★他のクラスや学年の先生 ★おうちの人 (参観日等を利用して)	*相手意識をもつことで、読みやすくわかりやすいリーフレットを作ろうとすることができるようにする。	書既習の「上手な説明の仕方」を生かし、特に知らせたいことについて、写真と対応させながら書いている。(リーフレット)
(ペア・グループ) 課題解決	- 取材したこと必要なことを選び、知らせたいことを説明する文章を書く。 - 写真を選び対応する文章を書く。 下書きができたなら、隣の人やグループの人に読んでもらって、読みづらいところやわかりづらいところがないか指摘し合ひましょう。 ・メモや下書きを読み合い、指摘し合う。	○表現の効果を考えながら文章を書くようにする。 ○取材したこと特に知らせたいことを選び、200字～300字程度で説明文を書く。 ○句読点や改行に気を付けながら書くようにする。 ○児童の撮影した写真を印刷しておく。肖像権を配慮し、印刷する写真を選択する。	【課題対応能力】 今までの学習を生かしながら、仕事リーフレットを作成している。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名『仕事リーフレット』を作ろう
 読むこと8 書くこと7 (14時間目/全15時間)

本時の目標

○グループで指摘し合い、句読点の打ち方や改行する箇所を考えて書くことができるようにする。＜書く能力＞→人間関係形成・社会形成能力
 ○読み手を意識し、構成を考え、敬体と常体が混在しないように書くことができるようにする。＜書く能力＞→人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習 目標	「グループで読み合って、さらによいリーフレットにしよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	・本時の学習のめあてを知る。 - 文章と写真の割付を工夫して、リーフレットを完成させましょう。 ・自己目標を設定する。 - 今日は校長先生に来てもらいました。みんな、学校に展示してもらえよう、お願いしましょう。 ・代表者がお願いの文を読む。 ・校長先生から話を聞く。	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。 *「学校 みんなが読めるようなリーフレットであれば、玄関に展示してもよいことを承諾する」というように伝えることで、相手意識を高めながら制作に当たることができるようにする。	書 グループで指摘し合い、句読点の打ち方や改行する箇所を考えて書いている。(リーフレット)
課題解決 (グループ)	・読んでもらう相手を意識し、相手の立場に立ってリーフレットを読み合う。 - グループでリーフレットを読み合い、よりよいものにしましょう。 ★低学年には、読めない漢字があるから、ふり仮名を書いたらどうか。 ★難しい言葉があるから、説明を加えたり、易しい言葉にしたりしてはどうか。 ★「～です。」という書き方にそろえた方がよいのではないかな。 ★写真の説明を加えた方がいいのではないかな。 ★この字は、太字にしたり色を付けたりしてはどうか。 ★読点が抜けているのではないかな。	○「仕事全体のこと」と「ある部分に着目したこと」のどちらを先に書くと、より効果的になるか考えるようにする。 ○文末表現をそろえるようにする。	人間関係形成・社会形成能力 話し合いで出された意見をリーフレット作りに生かしている。 書 読み手を意識し、構成を考え、敬体と常体が混在しないように書いている。(リーフレット)
課題解決 (個別)	・文章の構成を考えて書き、推敲したり、彩りを考えたりする。 ・リーフレットの完成をめざす。		【人間関係形成・社会形成能力】 読み手を意識して、リーフレットを作成している。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

学習指導案 第4学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」
 単元名「写真と文章で説明しよう」教材名「『仕事リーフレット』を作ろう」
 読むこと8 書くこと7 (15時間目/全15時間)

本時の目標

○相手意識をもった発表会を通して、仕事リーフレットの内容をわかりやすく伝えることができるようにする。＜書く能力＞
 →人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習 目標	「仕事リーフレットの発表会をしよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	・本時の学習のめあてを知る。 「仕事リーフレット」の発表会をしましょう。 ・自己目標を設定する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題 解決 (クラス)	・「仕事リーフレット」の発表会をして、感想を交流する。 ◎仕事をしている人の気持ちがよくわかってよかった。 ◎写真の説明がわかりやすかった。 ◎写真の説明や使い方がよく工夫されていて、アップとルーズの学習が生かされていたと思う。 ・発表したり、友だちの発表を聞いたりして感じたことをノートに書く。 ・掲示した仕事リーフレットをたくさんの人に読んでもらえるような工夫を考える。	*ゲストティーチャー（商店の人や、担任以外の先生）を招くことで、相手意識と緊張感をもって発表会に臨むことができるようにする。 *よいところや工夫などを交流することで、自信をもって発表することができるようにする。 ○ゲストティーチャーから外部評価をもらい、自己理解につなげるようにする。	書相手意識をもった発表会を通して、仕事リーフレットの内容をわかりやすく伝えることができるようにする。(観察・リーフレット) 
振り 返り	単元の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。単元を通して、①学習のめあてに対してどうだったか。②がんばった・できたこと ③できなかったこと・わからなかったこと ④友だちのよいところ ⑤これからの学習でがんばりたいこと ・振り返り活動に取り組んで感じたことを書く。	○単元を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、単元通しての自分の成長を振り返る。	【人間関係形成・社会形成能力】 相手意識をもってわかりやすく発表している。

学習の目標 「学習計画を立てよう。」

めあての
観点

● 学習を振り返ろう。

学習計画を立てる模造紙

・ ・ ・ ・ ④ ③ ② ①

「仕事リーフレット」を作るまでの学習計画

付箋を貼る模造紙

仕事

● 学習計画を立てよう。

めあての
観点

④ ③ ② ①

「仕事リーフレット」を作ろう

● 知っている仕事を出し合ひしよう。

学習の目標 「問いを見つけよう。」

めあての
観点

④ ③ ② ①

アップとルーズで伝える 中谷 日出

● 問いを見つけよう。

児童の意見

「アップ」・・・

「ルーズ」・・・

● 筆者がみんなに伝えたかったことは何だろう。

問いの文を見つける

「～でしよう。」

三段落「アップとルーズでは、どんなちがいがあるのでしよう。」

か。

問い二 アップとルーズのちがいは何か。

● 今日見つけた筆者の説明文の上手な書き方

児童の意見

（問いの文があった。）

児童の意見

● 題名を見て、知りたいと思ったこと

学習の目標 「1～3 段落を読みすすめよう。」

めあての
観点

④ ③ ② ①

アップとルーズで伝える 中谷 日出

● 二つの写真に見出しをつけよう。

児童の意見

● 今日見つけた筆者の説明文の上手な書き方

段落 1 段落 2 段落 3

段落 1 段落 2 段落 3

児童の意見

p. 31 の写真の拡大図

見出し

p. 30 の写真の拡大図

見出し

コートに立つ選手をうっし出しました。ホイッスルと同時にボールをける選手です。・・・

会場全体がうっし出されていて、両チームの選手たちは、コート全体に広がって、たがいボールを・・・

学習の目標「4～6 段落を読みすすめよう。」

●今日見つけた筆者の説明文の上手な書き方

段落5
段落4

段落6

児童の意見

●このように「アップとルーズ」には、それぞれ伝えられることとつたえられないことがある。

六段落

p. 33 の
写真の拡大図

でも

見出し
「試合終了直後のシーン」

わかること
広い範囲の様子
わからないこと
各選手の顔つきや視線、それから感じられる気持ち

p. 32 の
写真の拡大図

しかし

見出し
「ゴール直後のシーン」

わかること
細かい部分の様子
わからないこと
写されていない多くの部分のこと

●二つの写真に見出しをつけましょう。

めあての
観点

④学四く六段落を読みすすめよう。

アップとルーズで伝える 中谷 日出

学習の目標「段落の関係を考えよう。」

●今日見つけた筆者の説明文の上手な書き方

⑧
テレビでも新聞でも大切なこと

⑦
新聞の写真の場合

⑥
目的におうじて使い分けることの大切さ

⑤
わからないこと

④
ルーズでわかることとわからないこと

③
アップでわかることとアップとルーズの説明と間い

②
アップで見た選手の様子

①
ルーズで見た会場全体の様子

児童の意見

●段落の関係を考えよう。

八段落

テレビでも新聞でも大切なこと
・受け手が知りたいことは何か、送り手が伝えたいことは何かを考えて、アップとルーズを使い分けること。

七段落

新聞の写真の場合
・伝えたい内容に合わせて使い分けている。
・紙面の広さによっては、それらを組み合わせることもある。

●七、八段落に書かれていることを読み取ろう。

めあての
観点

④学四段落の関係について話し合おう。

アップとルーズで伝える 中谷 日出

学習の目標「筆者の説明の仕方を考えよう。」

●今日見つけた筆者の説明の仕方

児童の意見

例
・写真を上手に使っている。
・接続語を使って、対比させながら説明している。
・後で説明されている言葉を書いている。
・まとめを最後に書いている。
・テレビ以外の例をだして、説明している。

リーフレットに生かせそうな、中谷さん上手な説明の仕方を探しましょう。

●三十七ページの「言葉」を読みましょう。

言葉

説明されている言葉に――を引く。
・ルーズ
・郡
・正方形
・四つの辺の長さがみな等しく、四つの角がみな直角である四角形
・都道府県の一部で、町村をふくんだところ

めあての
観点

④学四筆者の説明の仕方を考えよう。

アップとルーズで伝える 中谷 日出

※8 時間目は板書計画なし

第4 学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」

単元名「写真と文章で説明しよう」教材名「『仕事リーフレット』を作ろう」

9・10 時間目 板書計画

学習の目標		「取材する仕事を決めて、メモを作ろう。」	
		●取材する仕事を決めよう。 ・花屋さん ・さんぱつ屋さん ・パン屋さん	④取材する仕事を決めて、『取材メモ』を作ろう
		●インタビューカードを書こう インタビューをするときの注意 ・お店のじやまにならないようにする。	
		●インタビューする内容を考えよう。 ・主な仕事は何ですか。 ・この仕事をしていてよかったなあと 思うことは何ですか。	

※11～14 時間目まで、板書計画なし

第4 学年 国語科 単元名「説明のしかたについて考えよう」教材名「アップとルーズで伝える」

単元名「写真と文章で説明しよう」教材名「『仕事リーフレット』を作ろう」

15 時間目 板書計画

学習の目標		「リーフレットを完成させよう。」	
		●リーフレットを読み合おう。 ・グループになる。 ・一人ずつ発表する。	⑤仕事リーフレットの発表会をしよう。
		聞く観点	
		てん示するときに、読んでもらう工夫を考えよう。	
		児童の意見 (例) ・ポスターを作る。 「みんなで読んでください。」 「国語の授業で作りました。」 「大切に読んでください。」 ・給食放送で紹介してもらおう。	

第6学年 国語科 単元の指導計画案

単元 (教材)	作品の世界を深く味わおう やまなし (資料)「イーハトーヴの夢」 読むこと (9時間) 10～11月		
目 標	- 作品を、作者の考え方や生き方と重ねながら読み味わい、優れた叙述について自分の考えをまとめることができるようにする。 - 目的に応じて、複数の本や文章を比べて読み、効果的な読み方を工夫することができるようにする。 - 作品の中で使われている表現を味わい、語感や言葉の使い方に関心をもつことができるようにする。		
単元目標 と生き方 探究教育 との関連	※作品を読んだ感想を、グループやクラスで交流し、様々な考え方があることを理解し、受け止めたり、質問したりする。(人間関係形成・社会形成能力) ※自分の生き方を振り返り、自分の生き方と作者の生き方とを重ね合わせながら、作品を読んでいる。(自己理解・自己管理能力) ※読みの視点を設定し、視点に沿って場面を比較したり読み深めたりしている。(課題対応能力) ※学習計画を立て、単元を見通して読み深めている。(キャリアプランニング能力) ※作品を通して賢治の生き方に触れ、それを今後の自分の生き方につなげようとしている。(キャリアプランニング能力)		
単元の 評価規準	- 国語への関心・意欲・態度 - 読む能力 - 言語についての知識・理解・技能 - 物語の情景や言葉の使い方に関心をもち、作者の考え方や生き方を知ろうとしている。 - 場面の様子をとらえて、優れた叙述に気が付いている。 - 複数の本や文章を読み、その特徴や作者の意図、作者のものの見方や考え方について考えている。 - 物語を読んで、語感や言葉の使い方に対する感覚について関心をもっている。		
時	学習活動(●中心活動 ・活動内容)	*支援 ○留意点	評価の視点(評価方法) ※準備物 →評価と関連している 生き方探究教育の力
1	作者の生き方・考え方を重ねて、作品を豊かに読 ●単元名、リード文、P124の上段を読んで、学習計画を立てる。 ・宮沢賢治という作家について、知っていることを交流する。 ・「雨ニモ負ケズ」の詩を聞いたり読んだりして、感想を交流する。 ・単元の学習計画を立て、見通しをもつ。	○今までの読書経験を把握しておく。 ○作者の生き方や他の作品と、自分とのつながりについて学習していくことを確認する。 ○宮沢賢治の作品と指導者とのつながりを話す。	関 学習計画を立てることを通して、学習の進め方を理解し、作者の生き方や考え方に迫ろうとしている。(発言・観察) →キャリアプランニング能力
2	●「イーハトーヴの夢」を通読し、作者の理想や考え方・生き方について話し合う。 ・資料から、生き方や考え方を見つける。 ・賢治の理想や考え方・生き方の中で、思ったことや考えたことを交流し、考えを深める。	○作者の理想や生き方をとらえられるように、考えていたことや願っていたことなどの観点を整理しながらまとめるようにする。	読 自分の生き方と比べながら資料を読み、作者のものの見方や考え方について考えている。(ノート) →自己理解・自己管理能力
3	●「やまなし」全文を音読し、作品構成を理解するとともに、読みの視点を知る。 ・作品が「五月」と「十二月」の場面に共通して書かれていることを探しながら読む。 ・それぞれの場面で、印象に残ったところや言葉をグループで交流する。 ・「五月」と「十二月」を比較しながら、読みの視点に沿って簡潔な言葉や図で表す。	○「五月」と「十二月」の情景を読み比べ、共通して書かれていることを見つけるようにする。(共通点例：かにかの様子・季節・情景・色・登場人物)	読 文章全体の構成を知り、二つの場面に共通することを、読みの視点として設定している。(ノート・発言) →課題対応能力 言 作品特有の語感や言葉の使い方に対する感覚について関心をもっている。(ノート・発言)
4	●「五月」の場面を、読みの視点に沿って読み深める。 ・読みの視点を基に、「五月」の情景を表す言葉を見つけ、ノートにまとめる。 ・「五月」の様子を読み、感じたことをグループやクラスで交流する。 ・「五月」の場面で、賢治が表したかった世界について話し合う。	○比喩的な表現を手がかりにして、情景を想像させる。 ○作品の世界に対し、想像を広げ、絵や言葉を用い、まとめるようにする。 ○1時間目に示した賢治の世界観を想起させる。	読 感想をグループやクラスで交流し、想像を広げたり比喩などの優れた叙述に気付いたりしながら、五月の場面の様子をとらえている。(ノート・発言) →課題対応能力

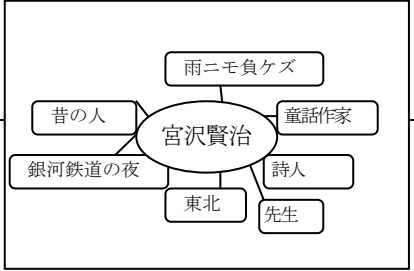
5	●「十二月」の場面を、読みの視点に沿って読み深める。 ・読みの視点を基に、「十二月」の情景を表す言葉を見つけノートにまとめる。 ・「十二月」の様子を読み、感じたことを交流する。 ・「十二月」の場面で、賢治が表したかった世界について話し合う。	○比喩的な表現を手がかりにして、情景を想像させる。 ○作品の世界に対し、想像を広げ、絵や言葉を用い、まとめるようにする。 ○五月の場面と比べて読むようにする。 ○1時間目に示した賢治の世界観を想起させる。	⑧感想をグループやクラスで交流し、想像を広げたり比喩などの優れた叙述に気付いたりしながら、十二月の場面の様子をとらえている。(ノート・発言) →課題対応能力
6	●「五月」と「十二月」の二つの場面对比し作品を読み深める。 ・読みの視点に沿って二つの場面の情景を対比する。 ・二つの場面对比し、わかったことや感想をノートにまとめる。 ・「やまなし」という題名について考える。	○前時までにまとめたノートなどを振り返り、対比されている様子や言葉を探すようにする。 ○二つの場面の対比に着目させる。	⑧既習内容を振り返りながら、対比されている言葉や様子を基に、二つの場面を読み比べている。(ノート・発言) →課題対応能力
7	●「本は友達」を読んで、本を読み広げる方法を知る。 ・複数の賢治の作品を読み、その特徴や作者の考え方をとらえるなど、今後の読書生活に活用できる読み方を考える。 ・読む作品を選択する。	○読書の世界を広げるため、次の視点をもって読み深めるようにする。 ・作者のものの見方や考え方、生き方を重ね合わせて読む。 ・構成や表現に注目して読む。 ・作品中の重要な要素に着目して読む。	⑧興味のある作品を「読みの観点」から読み、感想をもっている。(ノート・発言) →自己理解・自己管理能力
8	●自分が読み進めた賢治の作品を紹介し、感想を交流する。 ・前時の読み深める観点に沿って、読んだ本を紹介し合う。 ・読み深めた感想を話し合い、交流する。	○二人組や少人数グループなど、感想を交流しやすい形態を工夫する。	⑧グループやクラスで、作品を読んだ感想を交流し、賢治の作品の特徴や意図をとらえている。(ノート・発言) →人間関係形成・社会形成能力
9	●宮沢賢治が「やまなし」や他の作品を通して伝えたかったことを考え、自分のこれからの生き方について考える。 ・これまでの学習を基に、作品を通して、宮沢賢治が伝えたかった内容や作品に込めた思いを交流する。	*他の作品との関連を示すことで、賢治の考え方や生き方についての考えを深めることができるようにする。	⑧作品に込めた作者の願いについて考えを深め、これから<u>の生き方につなげている</u>。(ノート) →キャリアプランニング能力

本時の目標

○学習計画を立てることを通して、学習の進め方を理解し、作者の生き方や考え方に迫ろうとする。〈関心・意欲・態度〉

→キャリアプランニング能力

本時の展開

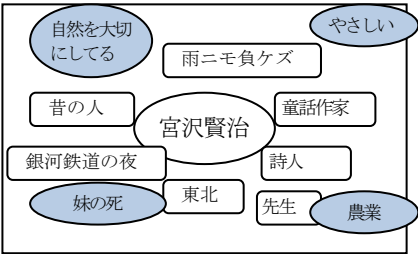
学習 目標	「学習計画を立てよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	*支援 ○留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	今日から、宮沢賢治という童話作家の生き方について迫ります。 ・「宮沢賢治」の作品や考え方から、自分の生き方について考えるという単元のめあてを知る。 この時間は、クラスやグループで自分の考えを交流します。自分のめあてを考えましょう。 ・本時の自己目標を設定する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題 解決 (クラス)	この単元は、このように進めていきます。 ・今日から始まる学習の単元の流れを提示する。 「宮沢賢治」という人のことについて知っていますか。 ・「宮沢賢治」について知っていることを交流する。 ◆岩手県出身 ◆「雨ニモ負ケズ」の作者 ◆先生をしていた	○グループで宮沢賢治についてのウェビングマップを作りながら、知っていることを出し合うようにする。 	※単元構想の掲示物 ※宮沢賢治の写真
(グル ープ 課題 解決 クラス)	実は、先生は、宮沢賢治の作品の中で、とても好きな作品があるのです。 ・「雨ニモ負ケズ(他の作品でもよい)」について、指導者の思いを知る。 ・「雨ニモ負ケズ」の詩を聞いたり読んだりして、感じたことや賢治の人柄などで想像したことなどをグループで交流する。 ・グループで出てきた意見を、クラスで交流する。	○指導者のもっている宮沢作品に対する思いを伝える。 ○グループで出てきた意見を、一枚の画用紙にまとめるようにする。	※指導者にとって思い出深い宮沢賢治の本 ※画用紙とマジック
課題 解決 (クラス)	・学習計画を立てる。 単元の学習計画について話し合いながら決めましょう。 ・「賢治の生き方に迫る」という単元目標を基に、単元の流れを考える。 ★「イーハトーヴの夢」を読んで、賢治の人生について知り、その後で、「やまなし」の世界観を読み深めたい。 ★「やまなし」と他の作品を読み比べたら、賢治の生き方に迫れるのではないかな。	○単元の全体は9時間であり、最後の時間には、賢治の生き方について作文を書くことを知らせる。	関学習計画を立てることを通して、学習の進め方を理解し、作者の生き方や考え方に迫ろうとしている。(発言・観察)
振り 返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	【キャリアプランニング能力】 学習計画を立て、単元を見通して読み深めている。

本時の目標

○自分の生き方と比べながら資料を読み、作者のものの見方や考え方について考えることができるようにする。＜読む能力＞

→自己理解・自己管理能力

本時の展開

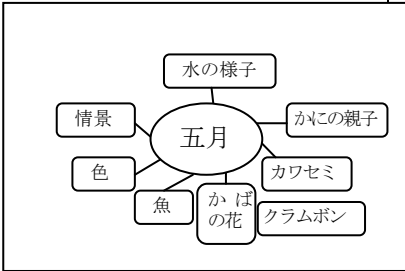
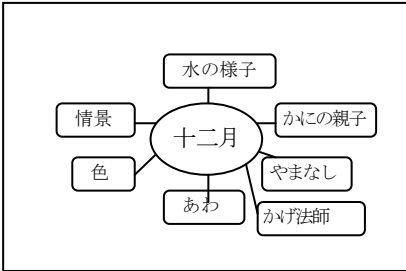
学習目標	「賢治の生き方について知ろう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	「イーハトーヴの夢」を通読し、作者の理想や考え方・生き方について話し合うという本時の学習の流れとめあてを知る。 - 自己目標を設定し、発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決 (グループ)	- 資料から、生き方や考え方を見つける。 - 資料を読んで見つけた、宮沢賢治の生き方や考え方をグループで出し合ひましょう。 - グループの中で意見を出し合う。 - 前時に書いた宮沢賢治のウェビングマップに書き加えていく。 	○作者の理想や生き方をとらえられるように、考えていたことや願っていたことなどの観点を整理しながらまとめるようにする。	①自分の生き方と比べながら資料を読み、作者のものの見方や考え方について考えている。(ノート)
課題解決 (個別)	- グループで話し合ったことをクラスで交流する準備をする。 - 宮沢賢治の生き方や考え方について自分が感じたことを、グループでの話し合いを生かして書きましよう。	○ノートに自分の感想をまとめるようにする。	【自己理解・自己管理能力】 時代の違い、環境の違いを理解した上で、賢治の考え方に触れて感じたことを感想に表している。
課題解決 (クラス)	- 賢治の理想や考え方・生き方について感じたことや考えたことを交流し、考えを深める。 - 自分の感想を発表して、クラスで交流しよう。 - 出てきた意見を全てノートに記録するのではなく、「なるほど」と新たに気付かされた意見を記録する。	*「なるほど」と感じた意見を記録することで、クラスで考えを交流することが自分の考えを深める上で有効であることを、実感することができるようにする。	
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○文章全体の構成を知り、二つの場面に共通することを、読みの視点として設定することができるようにする。＜読む能力＞ →課題対応能力

○作品特有の語感や言葉の使い方に対する感覚について関心をもつことができるようにする。＜言語＞

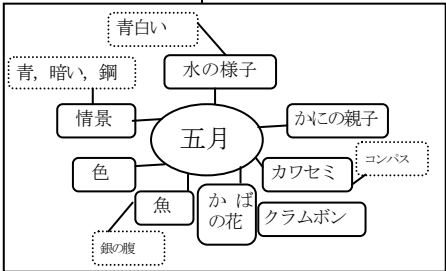
本時の展開

学習目標	「二つの場面の共通点とちがう点を見つけよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	・「やまなし」全文を音読し、作品構成を理解するとともに、読みの視点（共通点と相違点を探すという視点）を知るという学習の流れを知る。 ・学習のめあてを知る。 ・自己目標を設定し、発表する。	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決 (グループ)	・指導者の範読を聞く。 二つの場面に共通しているところや、どのような登場人物がいるのかということを考えながら聞きましょう。 ・作品が「五月」と「十二月」の場面に共通して書かれていること、または違うところを探しながら読む。 各自で全文を通読します。読みながら、共通しているところに傍線、違うところに波線を引いて、グループで話し合しましょう。 ・共通点を発表する。 (共通点例：かこの親子・水・情景・色・あわ・空から来る何か) ・相違点を発表する。 (相違点例：カワセミとやまなし、季節、イメージ・兄弟の会話・クランボン) ・それぞれの場面で、印象に残ったところや言葉をグループで交流する。	○読む視点を与える。 ①登場人物（会話や様子、イメージ） ②情景や色、光の表現 ③場面のイメージ ④不思議な言葉 ○「五月」と「十二月」の情景を読み比べ、共通して書かれていることを見つけるようにする。	読 文章全体の構成を知り、二つの場面に共通することを、<u>読みの視点</u>として設定している。(ノート・発言) 【課題対応能力】 作品を読み深めるために、読みの視点をもつことが有効であることを理解している。
課題解決 (個別)	・次時の学習に向けて、「五月」と「十二月」のウェビングマップを個人で作成する。 (例)  		
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	言 作品特有の語感や言葉の使い方に対する感覚について関心をもっている。(ノート・発言)

本時の目標

○感想をグループやクラスで交流し、想像を広げたり比喩などの優れた叙述に気付いたりしながら、五月の場面の様子をとらえることができるようにする。＜読む能力＞
→課題対応能力

本時の展開

学習目標	「五月の場面を読んで感じたことを交流しよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	・「五月」の場面を、読みの視点に沿って読み深めるという学習の流れを知る。 ・学習のめあてを知る。 ・自己目標を設定し、発表する。	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 * 自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決 (グループ・個別)	・読みの視点を基に、「五月」の情景を表す言葉を見つけ、前時に作成したウェビングマップに書き加える。 ＜読みの視点例＞ ◎かへの兄弟の様子 ◎カワセミ ◎クラムボン ◎情景 ◎色 ◎魚 ◎水の様子 ◎かばの花  ・ウェビングマップを作ってみて、気付いたことや感じたことをノートにまとめる。		① 感想をグループやクラスで交流し、想像を広げたり比喩などの優れた叙述に気付いたりしながら、五月の場面の様子をとらえている。(ノート・発言)
課題解決 (クラス)	・「五月」の様子を読み、感じたことをクラスで交流する。 ・「五月」の場面で、賢治が表したかった世界について話し合う。 ★「死んでしまった」「殺された」「なぜ殺された」「こわいところ」という死に関することが多く書かれている。 ★緊張する場面 ★動きのある場面	○比喩的な表現を手がかりにして、情景を想像させる。 ○作品の世界に対し、想像を広げ、絵や言葉を用い、まとめるようにする。 ○1時間目に示した賢治の世界観を想起させる。	【課題対応能力】 ウェビングマップの作成を通して、作品への理解を深めている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○感想をグループやクラスで交流し、想像を広げたり比喩などの優れた叙述に気付いたりしながら、十二月の場面の様子をとりえることができるようにする。＜読む能力＞
→課題対応能力

本時の展開

学習目標	「十二月の場面を読んで感じたことを交流しよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	「十二月」の場面を、読みの視点に沿って読み深めるという本時の学習の流れを知る。 - 本時の学習のめあてを知る。 - 自己目標を設定し、発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題解決 (グループ・個別)	- 読みの視点を基に、「十二月」の情景を表す言葉を見つけ、以前作成したウェビングマップに書き加える。 - ウェビングマップを作ってみて、気付いたことや感じたことをノートにまとめる。	○比喩的な表現を手がかりにして、情景を想像させる。	⑧ 感想をグループやクラスで交流し、想像を広げたり比喩などの優れた叙述に気付いたりしながら、十二月の場面の様子をとりえている。(ノート・発言)
(課題解決 クラス)	「十二月」の様子を読み、感じたことを交流する。 「十二月」の場面で、賢治が表したかった世界について話し合う。 ★暗い夜の水の中だけど、温かい雰囲気 ★希望が感じられるようなぬくもり ★かこの子どもたちの成長が感じられる ★とても静かなイメージ	○作品の世界に対し、想像を広げ、絵や言葉を用い、まとめるようにする。 ○五月の場面と比べて読むようにする。 ○1時間目に示した賢治の世界観を想起させる。	【課題対応能力】 ウェビングマップの作成を通して、作品への理解を深めている。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○既習内容を振り返りながら、対比されている言葉や様子を基に、二つの場面を読み比べることができるようにする。＜読む能力＞

→課題対応能力

本時の展開

学習目標	「二つの場面を読み比べよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	・「五月」と「十二月」の二つの場面对比し作品を読み深めるという本時の学習の流れを知る。 ・本時の学習のめあてを知る。 ・自己目標を設定し、発表する。	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 * 自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
(個別) 課題解決	・読みの視点に沿って二つの場面の情景を対比する。 二つのウェビングマップを見比べながら、二つの場面について読み深めましょう。 ・二つの場面对比し、分かったことや感想をノートにまとめる。	○前時までにまとめたノートや掲示物を振り返り、対比されている様子や言葉を探すようにする。 ○考えが出にくそうなときは、ペアやグループで話し合うようにする。	説 既習内容を振り返りながら、対比されている言葉や様子を基に、二つの場面を読み比べている。(ノート・発言)
(クラス) 課題解決	・クラスで共有する。 自分の考えを発表しましょう。 ★五月は怖いイメージだけど、十二月は明るいイメージ ★五月はドキドキして動きがある感じだけど、十二月は静かな感じがする。 ★「空から降ってくるもの」は、五月は鋭くて怖いカワセミだけど、十二月は丸くていいにおいのやまなしだった。 ★五月のころに比べて、十二月のかには成長している感じがする。 ・「やまなし」という題名について考える。 賢治はなぜ、「やまなし」という題名にしたのでしょうか。 ◎賢治は、妹を病気で亡くしているから、「やまなし」には、新しい命という思いがあるのではないか。 ◎賢治は農業の先生だから、「やまなし」のような植物の大切さを訴えたかったのではないか。 ◎やまなしの種が、やがて気になったり森の栄養になったりするから、やまなしは、「新しい生命」を表しているのだと思う。 ◎食料の少ない時代だから、自然の恵みを大切にしたいという思いがあるのではないか。	* 二つの場面对比に着目させる。 * 賢治の生き方や生きていた時代の様子を思い出すことで、やまなしに込めた思いを考えることができるようにする。	【課題対応能力】 ウェビングマップを見比べることを通して、二つの場面を比べるという課題に取り組んでいる。
振り返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○興味のある作品を「読みの観点」に沿って読み進め、感想をもつことができるようにする。＜関心・意欲・態度＞

→自己理解・自己管理能力

本時の展開

学習 目標	「他の作品を読んで、感想をまとめよう。」		
学習 展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題 設定	・「本は友達」を読んで、賢治の他の作品を読み、読みを広げるという本時の学習の流れを知る。 ・本時の学習のめあてを知る。 ・自己目標を設定し、発表する。	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
課題 解決 (クラス)	・「読みの観点」を考える。 他の作品を読むときには、「読みの観点」に沿って読み進めましょう。 ・「読みの観点」を設定する。 (読みの観点例) ☆賢治の考え方がよく表れているところはないかを探しながら読む。 ●自然を愛するところ ●死や生を象徴的に表しているところ ●農業の先生らしい表現や登場人物 ☆「やまなし」と比べながら読む。 ●よく使われていた「比喻表現」は使われていないか。 ●賢治独特の表現はないか。 ●「やまなし」の世界に共通しているところはないか。	○読書の世界を広げるため、次の視点をもって、読み深めるようにする。 ・作者のものの見方や考え方、生き方を重ね合わせて読む。 ・構成や表現に注目して読む。 ・作品中の重要な要素に着目して読む。 ○事前にこの時間の活動を知らせ、他の作品を読んでもおくようにする。(平行読書)	関 興味のある作品を「読みの観点」から読み、感想をもっている。(ノート・発言)
課題 解決 (個別)	・読む作品を選択し、読み進める。 自分が興味の湧いた作品を、読みの観点に沿って読んでいきましょう。友だちに伝えたいところが見つかったら、ノートにメモしておきましょう。 ・読みの観点に沿って読み、気になった文章や登場人物、言葉、気付いたことなどをメモする。	○読みながら気付いたことをノートにメモさせる。	【自己理解・自己管理能力】 他の作品を読んで感じたことを、理由を明らかにしながらわかりやすく伝えるために、感想を書いている。
振り 返り	今日の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○グループやクラスで、作品を読んだ感想を交流し、賢治の作品の特徴や意図をとらえることができるようにする。＜読む能力＞

→人間関係形成・社会形成能力

本時の展開

学習目標	「自分の読んだ作品を紹介しよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	- 自分が読み進めた賢治の作品を紹介し、感想を交流するという本時の学習の流れを知る。 - 本時の学習のめあてを知る。 - 自己目標を設定し、発表する。	相 指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
(グループ) 課題解決	- グループで、前時の読みの観点に沿って読んだ本を紹介し合う。 感想をグループで交流しましょう。 ＜交流の流れ(例)＞ ①一人が作品を紹介する。 ②聞き手は感想や質問を口頭で発表者に伝える。 ③読んでみての感想を言う。 ④発表者も聞き手も、口頭で伝えた内容を付箋紙に書き、発表者のノートに貼る。 ⑤次に人が発表する。	○前時に書いたメモをもとに、交流の場に臨むようにする。 ○二人組や少人数グループなど、感想を交流しやすい形態を工夫する。	⑧ グループやクラスで、作品を読んだ感想を交流し、賢治の作品の特徴や意図をとらえている。(ノート・発言)
課題解決(クラス)	クラスで交流する。 グループの中で紹介していて、それぞれの作品に共通していることや、新たに気付いたこと、おもしろいと思ったことなどはありませんか。 ★どの作品にも、比喩表現がたくさん使われていて、とてもおもしろいと思いました。 ★どの作品にも、賢治独特の表現がたくさん使われていることがわかりました。例えば……。 ★『永訣の朝』の暗くて悲しい感じと、『やまなし』の五月の場面とは、通じるところがあるように感じました。 ★「銀河鉄道の夜」では、友だちが死んで……。	○意見が出にくい場合は、活発に交流していたグループを取り上げ、発表をうながす。	【人間関係形成・社会形成能力】 自分が読んだ作品のよさや面白さ、感動したことを、わかりやすく伝えようとしている。
振り返り	- クラスでの交流を受けて、感想をノートに書く。 今日の学習を振り返りましょう。 - 次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。①がんばった・できたこと ②困り(わからなかったこと) ③友だちのすごいところ ④次の時間にがんばりたいこと	○その時間を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相 友だちや指導者と相談し、学習の目標やがんばり、困りを振り返ったり、次時の自己目標を考えたりする。	

本時の目標

○作品に込めた作者の願いについて、自分の考えを深め、自分のこれからの生き方につなげることができるようにする。＜読む能力＞

→キャリアプランニング能力

本時の展開

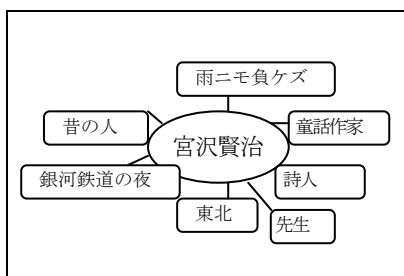
学習目標	「この学習を通して、自分のこれからの生き方について考え、交流しよう。」		
学習展開	学習活動 指導者の発言	○支援 *留意点 相相談活動	評価の視点 (評価方法) ※準備物
課題設定	- 宮沢賢治が「やまなし」や他の作品を通して伝えたかったことを考え、自分のこれからの生き方について考えるという本時の学習の流れを知る。 - 本時の学習のめあてを知る。 - 自己目標を設定し、発表する。	相指導者や友だちと相談して、本時の学習目標に向けてがんばりたいことを決定する。 *自己目標を発表することで、目標を意識することができるようにする。	
(課題解決)	前時の交流を想起する。 前の時間は、賢治の他の作品を読んだ感想を交流しました。授業後の感想には、こんな感想がありました。	○前時の感想に目を通し、意図的に指名する。	
課題解決 (個別)	これまでの学習を基に、自分のこれからの生き方について考える。 賢治が大切にしていたことや伝えたかったことを受けて、自分のこれからの生き方について考えて、原稿用紙に書きましょう。 <作文例> ◎賢治は、自然の大切さを訴えたかったのだと思う。なぜなら、『やまなし』では、・・・小さななかみが、何を考え、どのような会話をしているのか考えることは、とても大切なことだと思う。だから僕は、これからは、小さな生き物がどんなことを話しているのか想像して、大切にしていきたい。それに、・・・。 ◎賢治は、人はみんな平等であることを伝えたかったのだと思う。それは、『どんぐりと山猫』や、『雨ニモ負ケズ』を読んでいて思いました。・・・だから僕は、これからは・・・。 ◎賢治は、命の大切さについて私たちに考えてほしかったのだと思う。私は、グループで感想を出し合ったとき、『やまなし』でも、『銀河鉄道の夜』でも、『永訣の朝』でも、「死」をテーマにして書かれていることに気がきました。例えば・・・。だから私は、これからも、賢治の考えた理想の世界を築くために、自分に何ができるかを・・・。	*作文は、掲示したり、通信に載せたりすることで、クラスで共有することができるようにする。	※原稿用紙 ⑧ 作品に込めた作者の願いについて考えを深め、これからの生き方につなげている。(ノート) 【キャリアプランニング能力】 自己のこれからの生き方について真剣に向き合って考えている。
振り返り	単元の学習を振り返りましょう。 ・次のような観点で振り返りを行い、ノートに記録する。単元を通して、①学習のめあてに対してどうだったか。②がんばった・できたこと ③できなかったこと・わからなかったこと ④友だちのよいところ ⑤これからの学習でがんばりたいこと ・振り返り活動に取り組んで感じたことを書く。	○単元を振り返り、自己理解を深めるようにする。 相友だちや指導者と相談し、単元通しての自分の成長を振り返る。	

学習の目標

「学習計画を立てよう。」

学習目標	学習計画を立てよう。
一 宮沢賢治の生き方について知ろう。	宮沢賢治の生き方について知ろう。
二 二つの場面（会話や様子、イメージ）の共通点とちがう点を見つけよう。	二つの場面（会話や様子、イメージ）の共通点とちがう点を見つけよう。
三 二つの場面のイメー	二つの場面のイメー
四 自然を大切に	自然を大切に
五 五月の場面を	五月の場面を
六 二つの場面を	二つの場面を
七 他の作品を	他の作品を
八 自分の読んだ	自分の読んだ
九 この本を通して	この本を通して

● 学習計画を立てよう。



● グループで考えよう。

宮沢賢治の生き方や考え方にせまり、
自分の生き方につなげる。

④

⑤ 学習計画を立てよう。

「やまなし」「イーハトーヴの夢」

学習の目標

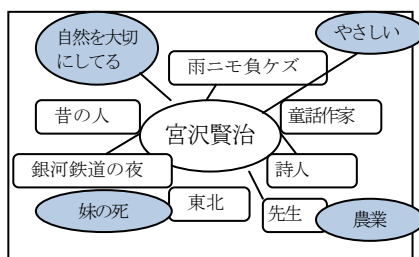
「賢治の生き方について知ろう。」

児童の意見

- ・ 死ぬ間際まで、村人のために・・・
- ・ ・・・すごいと思った。
- ・ 理想の国を作るなんて、とても想像力の豊かな人だと思った。
- ・ 賢治の作品を読んでみたくなった。

● 宮沢賢治はどんな人なのだろう。

- ・ 感動したこと
- ・ 気になったこと



● グループで考えよう。

イーハトーヴの夢を読んで考える。

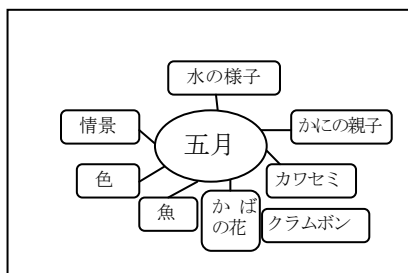
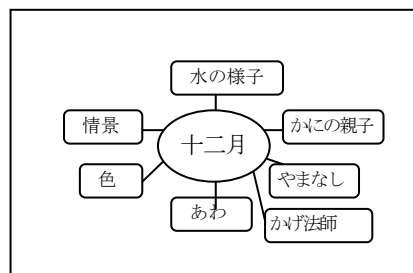
④

⑤ 賢治の生き方について知ろう。

「イーハトーヴの夢」 畑山 博

学習の目標

「二つの場面の共通点とちがう点を見つけよう。」



● ノートにウエビングマップを書こう。

- ① 登場人物（会話や様子、イメージ）
- ② 情景や色、光の表現
- ③ 場面のイメージ
- ④ 不思議な言葉

● 読む視点

④

⑤ 二つの場面の共通点とちがう点を見つけよう。

「やまなし」 宮沢 賢治

学習の目標

「五月の場面を読んで感じたことを交流しよう。」

児童の意見

- ・「死んでしまった」「殺された」「なぜ殺された」「こわいところ」というような、死を連想させることが書かれている。
- ・緊張感がある。
- ・怖いイメージ
- ・急に怖くなるイメージ

●五月の場面のイメージ

●読みの視点に沿って、読み深めよう。

④め

「やまなし」 宮沢 賢治

④学 五月の場面を読んで感じたことを交流しよう。

学習の目標

「十二月の場面を読んで感じたことを交流しよう。」

児童の意見

- ・暗い夜の水の中だけど、温かい雰囲気
- ・希望が感じられるようなぬくもり。
- ・かにの子どもたちが成長していて、未来を感じる。
- ・とても静かなイメージ

●十二月の場面のイメージ

●読みの視点に沿って、読み深めよう。

④め

「やまなし」 宮沢 賢治

④学 十二月の場面を読んで感じたことを交流しよう。

学習の目標

「二つの場面を読み比べよう。」

●賢治が「やまなし」に込めた思を考えよう。

読みの視点	五月	十二月
かにの親子		
水の様子		
情景		
色		
上から来たもの		

●ウェビングマップを見比べよう

④め

「やまなし」 宮沢 賢治

④学 二つの場面を読み比べよう。

学習の目標	「他の作品を読んで、感想をまとめよう。」
	「やまなし」 宮沢 賢治 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ● 次のことについて考えながら読もう。 ・「やまなし」と共通しているところはないか。 ★ 自然を愛するところ ★ 死や生を象徴的に表しているところ ★ 農業の先生らしい表現 ★ おもしろい言葉や文章表現 ・賢治の考え方、生き方が表れているところはないか。 ★ 賢治の優しさ ★ 平等や正義を愛するところ ★ 人のことをまず考えているところ

学習の目標	「自分の読んだ作品を紹介しよう。」
児童の意見 ・どの作品にも、比喩表現がたくさん使われている、とてもおもしろいと思った。 ・どの作品にも、賢治独特の表現が使われていた。 例えば、『風の又三郎』では、…… ・『永訣の朝』の悲しいところは、『やまなし』の五月の場面に似ているところがあった。例えば……	「やまなし」 宮沢 賢治 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ● 交流するときの流れ ① グループの一人が紹介する。 ② 聞いていた人は、質問、感想を言う。 ③ 発表者は、読んでみての感想を言う。 ④ 話したことを、ふせん紙に書く。 ⑤ 発表者のノートにふせん紙にはる。 ← 次の人が紹介する。 ● グループで交流して感じたこと

※9 時間目の板書計画は省略

